

改正理由	廃止	改正		備考																																																																																																																																																																																				
		現 行	改 正																																																																																																																																																																																					
		<p>(5) 下フランジ用鋼製型枠設置・撤去工1㎡当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="3">WB470950</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.03</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>㎡</td> <td>0.18</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.07</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(6) ウェブ用型枠(木製)製作、設置・撤去工1㎡当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="3">WB470960</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.03</td> <td>表5.5</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>㎡</td> <td>0.17</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.09</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(7) コンクリート工1㎡当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="3">WB470970</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.6</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>生 コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>㎡</td> <td>1.02</td> <td>式5.2、表5.7</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(8) リリース工1回(桁2本)当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="3">WB470980</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>橋 り よ う 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.8</td> </tr> <tr> <td>橋 り よ う 特 殊 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(9) 主桁解体工(分割工法)主桁1本当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="3">WB470990</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>橋 り よ う 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.9</td> </tr> <tr> <td>橋 り よ う 特 殊 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工歩掛コード		WB470950			名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	0.03	表5.4	型 枠 工		㎡	0.18	〃	普 通 作 業 員		人	0.07	〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					施工歩掛コード		WB470960			名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	0.03	表5.5	型 枠 工		㎡	0.17	〃	普 通 作 業 員		人	0.09	〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					施工歩掛コード		WB470970			名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表5.6	特 殊 作 業 員		人		〃	普 通 作 業 員		人		〃	生 コ ン ク リ ー ト		㎡	1.02	式5.2、表5.7	諸 雑 費		式	1	表5.6	計					施工歩掛コード		WB470980			名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 り よ う 世 話 役		人		表5.8	橋 り よ う 特 殊 工		人		〃	普 通 作 業 員		人		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					施工歩掛コード		WB470990			名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 り よ う 世 話 役		人		表5.9	橋 り よ う 特 殊 工		人		〃	普 通 作 業 員		人		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					削除	歩掛の廃止
施工歩掛コード		WB470950																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																				
土 木 一 般 世 話 役		人	0.03	表5.4																																																																																																																																																																																				
型 枠 工		㎡	0.18	〃																																																																																																																																																																																				
普 通 作 業 員		人	0.07	〃																																																																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																																								
施工歩掛コード		WB470960																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																				
土 木 一 般 世 話 役		人	0.03	表5.5																																																																																																																																																																																				
型 枠 工		㎡	0.17	〃																																																																																																																																																																																				
普 通 作 業 員		人	0.09	〃																																																																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																																								
施工歩掛コード		WB470970																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																				
土 木 一 般 世 話 役		人		表5.6																																																																																																																																																																																				
特 殊 作 業 員		人		〃																																																																																																																																																																																				
普 通 作 業 員		人		〃																																																																																																																																																																																				
生 コ ン ク リ ー ト		㎡	1.02	式5.2、表5.7																																																																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	表5.6																																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																																								
施工歩掛コード		WB470980																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																				
橋 り よ う 世 話 役		人		表5.8																																																																																																																																																																																				
橋 り よ う 特 殊 工		人		〃																																																																																																																																																																																				
普 通 作 業 員		人		〃																																																																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																																								
施工歩掛コード		WB470990																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																				
橋 り よ う 世 話 役		人		表5.9																																																																																																																																																																																				
橋 り よ う 特 殊 工		人		〃																																																																																																																																																																																				
普 通 作 業 員		人		〃																																																																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																																								
積算上の注意事項				(控え頁) 8/12																																																																																																																																																																																				

工 種	プレビーム桁製作工(現場)
-----	---------------

改正理由	廃止	改正		備考
		現 行	改 正	
(10) 主桁製作機械1工事当り単価表				歩掛の廃止
		施工歩掛コード	WB471000, WB471010, WB471020	
		名 称	規 格	
		ラフテレーンクレーン	各 種	
		主桁応力導入用機械		
		主桁製作用雑器具		
		主桁製作用足場		
		ドリフトピン		
		仮締めボルト		
		発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 37/45kVA	
		諸 雑 費		
		計		
(11) 機械運転単価表				削除
		名 称	規 格	
		発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型(第1次基準値) 37/45kVA	
		適用単価表	機-24	
		指 定 事 項	燃料消費量→24 機械損料数量→ 1.00	
積算上の注意事項				(控え頁) 9/12

改正理由	廃止	改正 現行	備 考																																																																																									
	現 行	改 正	備 考																																																																																									
	<p>8. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) プレビーム桁製作台工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB470910</td> <td>施工単位</td> <td>基</td> </tr> </table> <p>(2) 主桁製作用足場工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB470920</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> </table> <p>(3) プレフレクション工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB470930</td> <td>施工単位</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>施 工 区 分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td>工法種別</td> <td colspan="2">プレビーム 区間長区分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①標準工法</td> <td colspan="2">①22m未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>②分割工法</td> <td colspan="2">②22m以上30m未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③標準・分割工法</td> <td colspan="2">③30m以上40m未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">④40m以上</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で③を選択した場合は、J 2条件で②～④より選択すること。 2. J 1条件で①、②を選択した場合は、J 2条件は①で固定される。</p> <p>(4) 鉄筋工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB470940</td> <td>施工単位</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td>施 工 区 分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">J 1</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> <td colspan="3">鉄筋材料規格</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">(表8.1)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 材料ロスを含む。 2. J 1条件で①を選択した場合は、鉄筋コンクリート用棒鋼 (I-8004000) [円/t]を単価登録すること。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 鉄筋材料規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>入力番号</th> <th>区 分</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">S D 295</td> <td>D 10 ①</td> <td rowspan="3">S D 345</td> <td>D 29～32 ㉚</td> </tr> <tr> <td>D 13 ②</td> <td>φ 9 ㉛</td> </tr> <tr> <td>D 16 ③</td> <td>φ 13 ㉜</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">S D 345</td> <td>D 10 ④</td> <td rowspan="3">S R 235</td> <td>φ 16～25 ㉝</td> </tr> <tr> <td>D 13 ⑤</td> <td rowspan="2">各種</td> <td>㉞</td> </tr> <tr> <td>D 16～25 ⑥</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 下フランジ用型枠設置撤去工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB470950</td> <td>施工単位</td> <td>m²</td> </tr> </table> <p>(6) ウェブ用型枠工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB470960</td> <td>施工単位</td> <td>m²</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">IV-7-④-10</p>	施工歩掛コード	WB470910	施工単位	基	施工歩掛コード	WB470920	施工単位	m	施工歩掛コード	WB470930	施工単位	回	施 工 区 分	入 力 条 件				J 1	J 2		各 種	工法種別	プレビーム 区間長区分			①標準工法	①22m未満			②分割工法	②22m以上30m未満			③標準・分割工法	③30m以上40m未満				④40m以上		施工歩掛コード	WB470940	施工単位	t	施 工 区 分	入 力 条 件				J 1			各 種	鉄筋材料規格				(表8.1)			区 分	入力番号	区 分	入力番号	S D 295	D 10 ①	S D 345	D 29～32 ㉚	D 13 ②	φ 9 ㉛	D 16 ③	φ 13 ㉜	S D 345	D 10 ④	S R 235	φ 16～25 ㉝	D 13 ⑤	各種	㉞	D 16～25 ⑥		施工歩掛コード	WB470950	施工単位	m ²	施工歩掛コード	WB470960	施工単位	m ²	削除	歩掛の廃止
施工歩掛コード	WB470910	施工単位	基																																																																																									
施工歩掛コード	WB470920	施工単位	m																																																																																									
施工歩掛コード	WB470930	施工単位	回																																																																																									
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																											
	J 1	J 2																																																																																										
各 種	工法種別	プレビーム 区間長区分																																																																																										
	①標準工法	①22m未満																																																																																										
	②分割工法	②22m以上30m未満																																																																																										
	③標準・分割工法	③30m以上40m未満																																																																																										
		④40m以上																																																																																										
施工歩掛コード	WB470940	施工単位	t																																																																																									
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																											
	J 1																																																																																											
各 種	鉄筋材料規格																																																																																											
	(表8.1)																																																																																											
区 分	入力番号	区 分	入力番号																																																																																									
S D 295	D 10 ①	S D 345	D 29～32 ㉚																																																																																									
	D 13 ②		φ 9 ㉛																																																																																									
	D 16 ③		φ 13 ㉜																																																																																									
S D 345	D 10 ④	S R 235	φ 16～25 ㉝																																																																																									
	D 13 ⑤		各種	㉞																																																																																								
	D 16～25 ⑥																																																																																											
施工歩掛コード	WB470950	施工単位	m ²																																																																																									
施工歩掛コード	WB470960	施工単位	m ²																																																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 10/12																																																																																									

改正理由	廃止	改正		備考																																																																																																										
		現 行	改 正																																																																																																											
	<p>(7) コンクリート工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB470970</td> <td>施工単位</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td>施 工 区 分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td colspan="3">J 1</td> </tr> <tr> <td colspan="3">養生方法 ①散水 ②保温</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 材料ロスを含む。 2. 生コンクリート (Y-0210000) [円/㎡]を単価登録すること。</p> <p>(8) リリース工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB470980</td> <td>施工単位</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>施 工 区 分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">各 種</td> <td colspan="3">J 1</td> </tr> <tr> <td colspan="3">区間長</td> </tr> <tr> <td colspan="3">①22m未満</td> </tr> <tr> <td colspan="3">②22m以上30m未満 ③30m以上40m未満 ④40m以上</td> </tr> </table> <p>(9) 主桁解体工(分割工法)</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB470990</td> <td>施工単位</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td>施 工 区 分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td colspan="3">J 1</td> </tr> <tr> <td colspan="3">区間長 ①30m未満 ②30m以上</td> </tr> </table> <p>(10) 主桁製作機械損料</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB471000</td> <td>施工単位</td> <td>供用日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施 工 区 分</td> <td colspan="4">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">各 種</td> <td colspan="2">J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">機械種別</td> <td>区間長</td> <td>主桁応力導入用 機械必要数(基)</td> <td>主桁製作 足場 (m)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①主桁応力導入用機械</td> <td>①22m未満</td> <td rowspan="5">(実数入力)</td> <td rowspan="5">(実数入力)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②主桁製作用確認具</td> <td>②22m以上30m未満</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③主桁製作用足場</td> <td>③30m以上40m未満</td> </tr> <tr> <td colspan="2">④電動発電機</td> <td>④40m以上</td> </tr> <tr> <td colspan="2">⑤各種</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1 条件で①を選択した場合は、J 2 条件・J 3 条件を入力すること。 2. J 1 条件で③を選択した場合は、J 4 条件を入力すること。 3. J 1 条件で⑤を選択した場合は、主桁製作機械損料 (Y-1354000) [円/供用日]を単価登録すること。</p> <p>(11) ラフテレーンクレーン運転費(賃料)</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB471010</td> <td>施工単位</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>施 工 区 分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各 種</td> <td colspan="2">J 1</td> <td>J 2</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 規格</td> <td colspan="2">ラフテレーンクレーン 賃料補正係数</td> </tr> <tr> <td>(表8,2)</td> <td colspan="2">①標準(1.0) ②標準以外 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) ラフテレーンクレーンの賃料補正(夜間補正)を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。</p>	施工歩掛コード	WB470970	施工単位	㎡	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1			養生方法 ①散水 ②保温			施工歩掛コード	WB470980	施工単位	回	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1			区間長			①22m未満			②22m以上30m未満 ③30m以上40m未満 ④40m以上			施工歩掛コード	WB470990	施工単位	本	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1			区間長 ①30m未満 ②30m以上			施工歩掛コード	WB471000	施工単位	供用日		施 工 区 分	入 力 条 件				各 種	J 1		J 2	J 3	J 4	機械種別		区間長	主桁応力導入用 機械必要数(基)	主桁製作 足場 (m)	①主桁応力導入用機械		①22m未満	(実数入力)	(実数入力)	②主桁製作用確認具		②22m以上30m未満	③主桁製作用足場		③30m以上40m未満	④電動発電機		④40m以上	⑤各種			施工歩掛コード	WB471010	施工単位	日	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1		J 2	ラフテレーンクレーン 規格	ラフテレーンクレーン 賃料補正係数		(表8,2)	①標準(1.0) ②標準以外 (実数入力)		削除	歩掛の廃止
施工歩掛コード	WB470970	施工単位	㎡																																																																																																											
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																													
各 種	J 1																																																																																																													
	養生方法 ①散水 ②保温																																																																																																													
施工歩掛コード	WB470980	施工単位	回																																																																																																											
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																													
各 種	J 1																																																																																																													
	区間長																																																																																																													
	①22m未満																																																																																																													
	②22m以上30m未満 ③30m以上40m未満 ④40m以上																																																																																																													
施工歩掛コード	WB470990	施工単位	本																																																																																																											
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																													
各 種	J 1																																																																																																													
	区間長 ①30m未満 ②30m以上																																																																																																													
施工歩掛コード	WB471000	施工単位	供用日																																																																																																											
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																													
各 種	J 1		J 2	J 3	J 4																																																																																																									
	機械種別		区間長	主桁応力導入用 機械必要数(基)	主桁製作 足場 (m)																																																																																																									
	①主桁応力導入用機械		①22m未満	(実数入力)	(実数入力)																																																																																																									
	②主桁製作用確認具		②22m以上30m未満																																																																																																											
	③主桁製作用足場		③30m以上40m未満																																																																																																											
④電動発電機		④40m以上																																																																																																												
⑤各種																																																																																																														
施工歩掛コード	WB471010	施工単位	日																																																																																																											
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																													
各 種	J 1		J 2																																																																																																											
	ラフテレーンクレーン 規格	ラフテレーンクレーン 賃料補正係数																																																																																																												
	(表8,2)	①標準(1.0) ②標準以外 (実数入力)																																																																																																												
積算上の注意事項	IV-7-④-11			(控え頁) 11/12																																																																																																										

改正理由	廃止	改正																																
		現 行	改 正																															
現 行		改 正		備 考																														
<p style="text-align: center;">表8.2 ラフテレーンクレーン規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クレーン車</th> <th>規格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 20 t 吊</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 35 t 吊</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">〃</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 45 t 吊</td> <td>③</td> </tr> </tbody> </table> <p>(12) 仮締めボルト及びドリフトピン</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <th>WB471020</th> <th>施工単位</th> <th>供用日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各 種</td> <td colspan="2">J 1</td> <td>J 2</td> </tr> <tr> <td colspan="3">種類</td> </tr> <tr> <td>①仮締めボルトM22 ②ドリフトピン φ24.5×150</td> <td colspan="2">鋼桁質量 (t/2本分) (実数入力)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">IV-7-④-12</p>		クレーン車	規格	入力番号	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 20 t 吊	①	〃	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 35 t 吊	②	〃	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 45 t 吊	③	施工歩掛コード	WB471020	施工単位	供用日	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1		J 2	種類			①仮締めボルトM22 ②ドリフトピン φ24.5×150	鋼桁質量 (t/2本分) (実数入力)		削除		歩掛の廃止
クレーン車	規格	入力番号																																
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 20 t 吊	①																																
〃	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 35 t 吊	②																																
〃	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 45 t 吊	③																																
施工歩掛コード	WB471020	施工単位	供用日																															
施工区分	入 力 条 件																																	
各 種	J 1		J 2																															
	種類																																	
	①仮締めボルトM22 ②ドリフトピン φ24.5×150	鋼桁質量 (t/2本分) (実数入力)																																
積算上の注意事項				(控え頁) 12/12																														

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考																																																																																		
現	行	改	正																																																																																		
備 考																																																																																					
<p>3-2 トラッククレーンによる架設</p> <p>(1) トラッククレーンによる架設歩掛 トラッククレーンによる架設作業に適用し、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 トラッククレーンによる架設歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">架設部材質量</th> <th rowspan="2">トラッククレーン 規格・台数</th> <th rowspan="2">1日当り 架設質量 (t/日)</th> <th colspan="4">編成人員(人/日)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>橋りよう 世話役</th> <th>橋りよう 特殊工</th> <th>普 通 作 業 員</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20 t 未満</td> <td>油圧伸縮ジブ型 100 t 吊×1台</td> <td>125</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>3</td> <td rowspan="3">14</td> </tr> <tr> <td>20 t 以上 35 t 未満</td> <td>油圧伸縮ジブ型 160 t 吊×1台</td> <td>190</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">7</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>35 t 以上 60 t 以下</td> <td>油圧伸縮ジブ型 120 t 吊×2台</td> <td>225</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、架設に伴う仮締めを含む。 2. 本歩掛は、トラッククレーンにより桁運搬車、又は仮置き場から直接吊上げ所定の位置に架設出来る場合のものであり、架設現場までの小運搬(2次運搬)を伴う場合は、小運搬作業費を別途計上する。 3. 本歩掛は架設高さ10m未満、作業半径は橋梁下からの架設の場合は10m程度、橋台上背面からの架設の場合は10~16m程度の標準値であり、現場条件により架設用トラッククレーンの規格が上表により難しい場合は、現場条件に適した規格を選定することが出来る。 4. トラッククレーン、トレーラ等の運搬路及び足場の整備に要する費用は、必要に応じ別途計上する。 5. トラッククレーンは、賃料とする。また、運転日数は次式による。 トラッククレーン運転日数=架設日数 6. 諸雑費は、仮締めボルト、ドリフトピン、架設工具損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>3-3 架設桁による架設</p> <p>(1) 架設桁による架設歩掛 架設桁(上路式、1組桁)と移動式クレーン併用による架設作業に適用し、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 架設桁(上路式、1組桁)と移動式クレーン併用による架設歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">支 間(m)</th> <th rowspan="2">25 m 以下</th> <th rowspan="2">30 m 以下</th> <th rowspan="2">35 m 以下</th> <th rowspan="2">40 m 以下</th> <th rowspan="2">45 m 以下</th> <th colspan="3">編成人員(人/日)</th> </tr> <tr> <th>橋りよ う 世 話 役</th> <th>橋りよ う 特 殊 工</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日当り架設質量(t)</td> <td>30</td> <td>60</td> <td>90</td> <td>120</td> <td>150</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">5</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>移動式クレーン</td> <td>2台 /日</td> <td>2台 /日</td> <td>2台 /日</td> <td>2台 /日</td> <td>2台 /日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、桁製作場又は仮置き場から横取り、台車積込、架設場まで桁を引出し(約200mまで)架設、移動式クレーン(相用)について横取り、据付けまでの一連作業の場合である。 2. 横取り用の移動式クレーンの規格は、桁質量及び現場条件を考慮のうえ決定する。</p> <p>(2) 架設機械据付・解体 架設機械据付・解体歩掛は、「第IV編第7章橋梁工⑨PC橋架設工」の4. 架設桁による架設による。</p> <p>(3) 架設機械移動 架設機械移動歩掛は、「第IV編第7章橋梁工⑨PC橋架設工」の4. 架設桁による架設による。</p> <p>(4) 軌道設置・撤去 軌道設置・撤去歩掛は、「第IV編第7章橋梁工⑨PC橋架設工」の4. 架設桁による架設による。</p> <p>(5) 架設機械器具経費 架設機械は、移動式クレーン、架設桁設備、引出し設備、軌道設備とする。 供用日数は次式による。なお、これにより難しい場合は、別途考慮する。 供用日数=(架設日数+架設機械据付・解体日数+架設機械移動日数+軌道設置・撤去日数)×1.5</p> <p style="text-align: center;">IV-7-④-14</p>	架設部材質量	トラッククレーン 規格・台数	1日当り 架設質量 (t/日)	編成人員(人/日)				諸雑費率 (%)	橋りよう 世話役	橋りよう 特殊工	普 通 作 業 員	諸雑費率 (%)	20 t 未満	油圧伸縮ジブ型 100 t 吊×1台	125	1	5	3	14	20 t 以上 35 t 未満	油圧伸縮ジブ型 160 t 吊×1台	190	1	7	3	35 t 以上 60 t 以下	油圧伸縮ジブ型 120 t 吊×2台	225	支 間(m)	25 m 以下	30 m 以下	35 m 以下	40 m 以下	45 m 以下	編成人員(人/日)			橋りよ う 世 話 役	橋りよ う 特 殊 工	普 通 作 業 員	1日当り架設質量(t)	30	60	90	120	150	1	5	3	移動式クレーン	2台 /日	2台 /日	2台 /日	2台 /日	2台 /日	<p>3-2 トラッククレーンによる架設</p> <p>(1) トラッククレーンによる架設歩掛 トラッククレーンによる架設作業に適用し、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 トラッククレーンによる架設歩掛</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">架設部材質量</th> <th rowspan="2">トラッククレーン 規格・台数</th> <th rowspan="2">1日当り 架設質量 (t/日)</th> <th colspan="4">編成人員(人/日)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>橋りよう 世話役</th> <th>橋りよう 特殊工</th> <th>普 通 作 業 員</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20 t 未満</td> <td>油圧伸縮ジブ型 100 t 吊×1台</td> <td>125</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>3</td> <td rowspan="3">14</td> </tr> <tr> <td>20 t 以上 35 t 未満</td> <td>油圧伸縮ジブ型 160 t 吊×1台</td> <td>190</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">7</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>35 t 以上 60 t 以下</td> <td>油圧伸縮ジブ型 120 t 吊×2台</td> <td>225</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、架設に伴う仮締めを含む。 2. 本歩掛は、トラッククレーンにより桁運搬車、又は仮置き場から直接吊上げ所定の位置に架設出来る場合のものであり、架設現場までの小運搬(2次運搬)を伴う場合は、小運搬作業費を別途計上する。 3. 本歩掛は架設高さ10m未満、作業半径は橋梁下からの架設の場合は10m程度、橋台上背面からの架設の場合は10~16m程度の標準値であり、現場条件により架設用トラッククレーンの規格が上表により難しい場合は、現場条件に適した規格を選定することが出来る。 4. トラッククレーン、トレーラ等の運搬路及び足場の整備に要する費用は、必要に応じ別途計上する。 5. トラッククレーンは、賃料とする。また、運転日数は次式による。 トラッククレーン運転日数=架設日数 6. 諸雑費は、仮締めボルト、ドリフトピン、架設工具損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(5) 架設機械器具経費 架設機械は、移動式クレーン、架設桁設備、引出し設備、軌道設備とする。 供用日数は次式による。なお、これにより難しい場合は、別途考慮する。 供用日数=(架設日数+架設機械据付・解体日数+架設機械移動日数+軌道設置・撤去日数)×1.51.8</p>	架設部材質量	トラッククレーン 規格・台数	1日当り 架設質量 (t/日)	編成人員(人/日)				諸雑費率 (%)	橋りよう 世話役	橋りよう 特殊工	普 通 作 業 員	諸雑費率 (%)	20 t 未満	油圧伸縮ジブ型 100 t 吊×1台	125	1	5	3	14	20 t 以上 35 t 未満	油圧伸縮ジブ型 160 t 吊×1台	190	1	7	3	35 t 以上 60 t 以下	油圧伸縮ジブ型 120 t 吊×2台	225	<p>記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>
架設部材質量				トラッククレーン 規格・台数	1日当り 架設質量 (t/日)	編成人員(人/日)				諸雑費率 (%)																																																																											
	橋りよう 世話役	橋りよう 特殊工	普 通 作 業 員			諸雑費率 (%)																																																																															
20 t 未満	油圧伸縮ジブ型 100 t 吊×1台	125	1	5	3	14																																																																															
20 t 以上 35 t 未満	油圧伸縮ジブ型 160 t 吊×1台	190	1	7	3																																																																																
35 t 以上 60 t 以下	油圧伸縮ジブ型 120 t 吊×2台	225																																																																																			
支 間(m)	25 m 以下	30 m 以下	35 m 以下	40 m 以下	45 m 以下	編成人員(人/日)																																																																															
						橋りよ う 世 話 役	橋りよ う 特 殊 工	普 通 作 業 員																																																																													
1日当り架設質量(t)	30	60	90	120	150	1	5	3																																																																													
移動式クレーン	2台 /日	2台 /日	2台 /日	2台 /日	2台 /日																																																																																
架設部材質量	トラッククレーン 規格・台数	1日当り 架設質量 (t/日)	編成人員(人/日)				諸雑費率 (%)																																																																														
			橋りよう 世話役	橋りよう 特殊工	普 通 作 業 員	諸雑費率 (%)																																																																															
20 t 未満	油圧伸縮ジブ型 100 t 吊×1台	125	1	5	3	14																																																																															
20 t 以上 35 t 未満	油圧伸縮ジブ型 160 t 吊×1台	190	1	7	3																																																																																
35 t 以上 60 t 以下	油圧伸縮ジブ型 120 t 吊×2台	225																																																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 1/4																																																																																		

改正理由	一部改正	改 正 — 現 行	備 考																																																																				
現	行	改 正	備 考																																																																				
<p>また、移動式クレーン（架設用）は賃料を標準とし、運転日数は次式による。 移動式クレーン運転日数＝架設日数</p> <p>諸雑費は、仮締めボルト、ドリフトピン、架設工具損料及び電力に関する経費等の費用であり、移動式クレーンを除く架設機械器具経費の合計額に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>支間(m)</th> <th>25以下</th> <th>30以下</th> <th>35以下</th> <th>40以下</th> <th>45以下</th> </tr> <tr> <td>諸雑費率(%)</td> <td>53</td> <td>44</td> <td>37</td> <td>27</td> <td>23</td> </tr> </table> <p>3-4 地組工 地組工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 地組工歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">日 当 り 施 工 量 Dg(t/日)</th> <th colspan="3">編成人員(人/日)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>橋りょう世話役</th> <th>橋りょう特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> <tr> <td>$Dg = \frac{G}{0.01(G+100)}$</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>18</td> </tr> </table> <p>G：地組質量（t）</p> <p>(注) 1. 本歩掛は、地組に伴う仮締めを含む。 2. 地組質量は、地上組立をすべき部材の質量である。 3. 地組工に本締め工は含まない。 4. 諸雑費は、仮締めボルト、ドリフトピン、架設工具損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. クレーンについては、架設用移動式クレーンを兼用する。また、移動式クレーンは賃料を標準とし、運転日数は次式による。 運転日数＝地組日数 6. 日当り施工量Dgは小数第1位までとし、2位を四捨五入する。</p> <p>3-5 本締め工 本締め工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 本締め工歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">日 当 り 施 工 量 Dq(本/日)</th> <th colspan="3">編成人員(人/日)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>橋りょう世話役</th> <th>橋りょう特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> <tr> <td>$Dq = \frac{31.9 \times W}{0.017 \times W + 0.19}$ ただし上限を1,950本とする。</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>17</td> </tr> </table> <p>W：主桁総質量（t）</p> <p>(注) 1. 本歩掛は、地組及び架設の際の本締め工に適用する。 2. 諸雑費は、架設工具損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 日当り施工量Dqは小数第1位までとし、2位を四捨五入する。 4. 本締め用ボルト使用総本数は、次式を標準とする。 使用総本数＝31.9×W</p> <p>なお、これにより難い場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">IV-7-④-15</p>	支間(m)	25以下	30以下	35以下	40以下	45以下	諸雑費率(%)	53	44	37	27	23	日 当 り 施 工 量 Dg(t/日)	編成人員(人/日)			諸雑費率 (%)	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員	$Dg = \frac{G}{0.01(G+100)}$	1	5	1	18	日 当 り 施 工 量 Dq(本/日)	編成人員(人/日)			諸雑費率 (%)	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員	$Dq = \frac{31.9 \times W}{0.017 \times W + 0.19}$ ただし上限を1,950本とする。	1	5	1	17	<p>また、移動式クレーン（架設用）は賃料を標準とし、運転日数は次式による。 移動式クレーン運転日数＝架設日数</p> <p>諸雑費は、仮締めボルト、ドリフトピン、架設工具損料及び電力に関する経費等の費用であり、移動式クレーンを除く架設機械器具経費の合計額に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>支間(m)</th> <th>25以下</th> <th>30以下</th> <th>35以下</th> <th>40以下</th> <th>45以下</th> </tr> <tr> <td>諸雑費率(%)</td> <td>53</td> <td>44</td> <td>37</td> <td>27</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率(%)</td> <td>51</td> <td>42</td> <td>35</td> <td>26</td> <td>22</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>3-5 本締め工 本締め工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 本締め工歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">日 当 り 施 工 量 Dq(本/日)</th> <th colspan="3">編成人員(人/日)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>橋りょう世話役</th> <th>橋りょう特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> <tr> <td>$Dq = \frac{31.9 \times W}{0.017 \times W + 0.19}$ ただし上限を1,950本とする。</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>17</td> </tr> </table> <p>W：主桁総質量（t）</p> <p>(注) 1. 本歩掛は、地組及び架設の際の本締め工に適用する。 2. 諸雑費は、架設工具損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 日当り施工量Dqは小数第1位までとし、2位を四捨五入する。 4. 本締め用ボルト使用総本数は、次式を標準とする。 使用総本数＝31.9×W</p> <p>なお、これにより難い場合は、別途考慮する。</p>	支間(m)	25以下	30以下	35以下	40以下	45以下	諸雑費率(%)	53	44	37	27	23	諸雑費率(%)	51	42	35	26	22	日 当 り 施 工 量 Dq(本/日)	編成人員(人/日)			諸雑費率 (%)	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員	$Dq = \frac{31.9 \times W}{0.017 \times W + 0.19}$ ただし上限を1,950本とする。	1	5	1	17	<p style="text-align: center;">記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>
支間(m)	25以下	30以下	35以下	40以下	45以下																																																																		
諸雑費率(%)	53	44	37	27	23																																																																		
日 当 り 施 工 量 Dg(t/日)	編成人員(人/日)			諸雑費率 (%)																																																																			
	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員																																																																				
$Dg = \frac{G}{0.01(G+100)}$	1	5	1	18																																																																			
日 当 り 施 工 量 Dq(本/日)	編成人員(人/日)			諸雑費率 (%)																																																																			
	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員																																																																				
$Dq = \frac{31.9 \times W}{0.017 \times W + 0.19}$ ただし上限を1,950本とする。	1	5	1	17																																																																			
支間(m)	25以下	30以下	35以下	40以下	45以下																																																																		
諸雑費率(%)	53	44	37	27	23																																																																		
諸雑費率(%)	51	42	35	26	22																																																																		
日 当 り 施 工 量 Dq(本/日)	編成人員(人/日)			諸雑費率 (%)																																																																			
	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員																																																																				
$Dq = \frac{31.9 \times W}{0.017 \times W + 0.19}$ ただし上限を1,950本とする。	1	5	1	17																																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 2/4																																																																				

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																													
現	行	改 正	備 考																																													
<p>3-6 横桁取付工 横桁を取付ける作業で、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 横桁取付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">日当り作業量 (箇所/日)</th> <th colspan="3">編成人員(人/日)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>橋りよう世話役</th> <th>橋りよう特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 横桁取付用ボルト使用総本数は、次式を標準とする。 使用総本数=12.4×(横桁数量) なお、これにより難い場合は、別途考慮する。 2. 諸雑費は、架設工具損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>3-7 足場工及び防護工 足場工及び防護工は、「第IV編第7章橋梁工⑨PC橋架設工」5.横組工5-5足場工及び防護工による。</p> <p>3-8 局部プレストレス工 主桁を分割し、架設した場合において桁架設後に行う添接箇所の局部プレストレス工歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 局部プレストレス工歩掛 (1径間当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りよう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋りよう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、カウンターウェイトの賃料等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>3-9 床版・横桁工 床版・横桁工は、「第IV編第7章橋梁工⑤鋼橋床版工」による。</p> <p style="text-align: center;">IV-7-④-16</p>	日当り作業量 (箇所/日)	編成人員(人/日)			諸雑費率 (%)	橋りよう世話役	橋りよう特殊工	普通作業員	17	1	4	1	20	名 称	規 格	単 位	数 量	橋りよう世話役		人	1	橋りよう特殊工		〃	4	普通作業員		〃	1	諸 雑 費 率		%	16	<p>3-6 横桁取付工 横桁を取付ける作業で、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 横桁取付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">日当り作業量 (箇所/日)</th> <th colspan="3">編成人員(人/日)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>橋りよう世話役</th> <th>橋りよう特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>20 19</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 横桁取付用ボルト使用総本数は、次式を標準とする。 使用総本数=12.4×(横桁数量) なお、これにより難い場合は、別途考慮する。 2. 諸雑費は、架設工具損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	日当り作業量 (箇所/日)	編成人員(人/日)			諸雑費率 (%)	橋りよう世話役	橋りよう特殊工	普通作業員	17	1	4	1	20 19	<p>記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>
日当り作業量 (箇所/日)		編成人員(人/日)				諸雑費率 (%)																																										
	橋りよう世話役	橋りよう特殊工	普通作業員																																													
17	1	4	1	20																																												
名 称	規 格	単 位	数 量																																													
橋りよう世話役		人	1																																													
橋りよう特殊工		〃	4																																													
普通作業員		〃	1																																													
諸 雑 費 率		%	16																																													
日当り作業量 (箇所/日)	編成人員(人/日)			諸雑費率 (%)																																												
	橋りよう世話役	橋りよう特殊工	普通作業員																																													
17	1	4	1	20 19																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																																													


改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行																																								
現 行		改 正																																								
備 考																																										
<p>(2)-1 架設工 (架設桁による架設) 架設部材質量10t 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">施工歩掛コード</td> <td>WB471040</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>桶りよう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>10/B×1</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>桶りよう特殊工</td> <td></td> <td>"</td> <td>10/B×5</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>10/B×3</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>移動式クレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 各種</td> <td>台・日</td> <td>10/B×2</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) B=1日当り架設質量 (t/日)</p>				施工歩掛コード	WB471040	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	桶りよう世話役		人	10/B×1	表3.2	桶りよう特殊工		"	10/B×5	"	普通作業員		"	10/B×3	"	移動式クレーン	油圧伸縮ジブ型 各種	台・日	10/B×2	"	諸 雑 費		式	1		計					<div style="font-size: 2em;">}</div> <p>現行どおり</p>	
		施工歩掛コード	WB471040																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																						
桶りよう世話役		人	10/B×1	表3.2																																						
桶りよう特殊工		"	10/B×5	"																																						
普通作業員		"	10/B×3	"																																						
移動式クレーン	油圧伸縮ジブ型 各種	台・日	10/B×2	"																																						
諸 雑 費		式	1																																							
計																																										
<p>(2)-2 架設機械器具経費 (架設桁による架設) 一式当り内訳書</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">施工歩掛コード</td> <td>WB471090</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>架 設 桁 設 備</td> <td></td> <td>日</td> <td>C×1.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>引 出 し 設 備</td> <td></td> <td>"</td> <td>"</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軌 道 設 備</td> <td></td> <td>"</td> <td>"</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) C=架設日数+架設機械据付・解体日数+架設機械移動日数+軌道設置・撤去日数</p>				施工歩掛コード	WB471090	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	架 設 桁 設 備		日	C×1.5		引 出 し 設 備		"	"		軌 道 設 備		"	"		諸 雑 費		式	1	表3.3	計					<div style="font-size: 2em;">}</div> <p>現行どおり</p>						
		施工歩掛コード	WB471090																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																						
架 設 桁 設 備		日	C×1.5																																							
引 出 し 設 備		"	"																																							
軌 道 設 備		"	"																																							
諸 雑 費		式	1	表3.3																																						
計																																										
<p>(3) 地組工 10t 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">施工歩掛コード</td> <td>WB471100</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>桶りよう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>10/Dg×1</td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>桶りよう特殊工</td> <td></td> <td>"</td> <td>10/Dg×5</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>10/Dg×1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>移動式クレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 各種</td> <td>台・日</td> <td>10/Dg</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) Dg=1日当り地組質量 (t/日)</p>				施工歩掛コード	WB471100	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	桶りよう世話役		人	10/Dg×1	表3.4	桶りよう特殊工		"	10/Dg×5	"	普通作業員		"	10/Dg×1	"	移動式クレーン	油圧伸縮ジブ型 各種	台・日	10/Dg	"	諸 雑 費		式	1	"	計					<div style="font-size: 2em;">}</div> <p>現行どおり</p>	
		施工歩掛コード	WB471100																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																						
桶りよう世話役		人	10/Dg×1	表3.4																																						
桶りよう特殊工		"	10/Dg×5	"																																						
普通作業員		"	10/Dg×1	"																																						
移動式クレーン	油圧伸縮ジブ型 各種	台・日	10/Dg	"																																						
諸 雑 費		式	1	"																																						
計																																										
<p>(4) 本締め工 100本 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">施工歩掛コード</td> <td>WB471110</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>桶りよう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>100/Dq×1</td> <td>表3.5</td> </tr> <tr> <td>桶りよう特殊工</td> <td></td> <td>"</td> <td>100/Dq×5</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>100/Dq×1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>本締めボルト</td> <td></td> <td>本</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) Dq=1日当り本締の本数 (本/日)</p>				施工歩掛コード	WB471110	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	桶りよう世話役		人	100/Dq×1	表3.5	桶りよう特殊工		"	100/Dq×5	"	普通作業員		"	100/Dq×1	"	本締めボルト		本	100		諸 雑 費		式	1	表3.5	計					<div style="font-size: 2em;">}</div> <p>現行どおり</p>	
		施工歩掛コード	WB471110																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																						
桶りよう世話役		人	100/Dq×1	表3.5																																						
桶りよう特殊工		"	100/Dq×5	"																																						
普通作業員		"	100/Dq×1	"																																						
本締めボルト		本	100																																							
諸 雑 費		式	1	表3.5																																						
計																																										
IV-7-④-18																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 4/4																																							

記載の変更
(歩掛改定に伴う)

		施工歩掛コード	WB471090	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
架 設 桁 設 備		日	C× 1.5 1.8	
引 出 し 設 備		"	"	
軌 道 設 備		"	"	
諸 雑 費		式	1	表3.3
計				

(注) C=架設日数+架設機械据付・解体日数+架設機械移動日数+軌道設置・撤去日数

工 種	ポストテンション桁製作工
-----	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行	
現	行	改	正
		備	考
<p>⑦ ポストテンション桁製作工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、ポストテンション単純T桁（支間長 45m以下のP C定着工法）（以下参考図を参照）の現場製作工に適用する。セメントは早強セメントを標準とする。 なお、本資料はA又はB活荷重桁に適用する。</p> <p>(参考図)ポストテンション桁標準断面図</p>  <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <pre> graph TD A[機材搬入] --> B[軌道設置 門型クレーン据付] B --> C[主桁製作台設置 主桁製作用足場設置] C --> D[鉄筋加工・組立] D --> E[機組シーす組立] E --> F[P Cケーブル挿入] F --> G[型枠設置] G --> H[コンクリート打設・養生] H --> I[型枠撤去] I --> J[緊張] J --> K[グラウト注入] K --> L[主桁製作台及び 主桁製作用足場撤去] L --> M[軌道撤去 門型クレーン解体] M --> N[機材搬出] O[主桁製作台製正] --> D O --> P[仮置き] P --> Q[緊張] Q --> R[グラウト注入] R --> O </pre> <p>(注) 本ステップで対応しているのは、 実線部分のみである。</p> <p>IV-7-⑦-1</p>	<p>1. 適用範囲 本資料は、ポストテンション単純T桁（支間長 45m以下のP C定着工法）（以下参考図を参照）の現場製作工に適用する。セメントは早強セメントを標準とする。 なお、本資料はA又はB活荷重桁に適用する。 連結構造は適用外とする。</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>	
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考																										
現	行	改	正																										
<p>3. 施 工 歩 掛</p> <p>3-1 ポストテンション桁製作工 ポストテンション桁製作工とはフロー図に示す通り、門型クレーンの設置からポストテンションT桁の製作にかかる一連の作業であり、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 ポストテンション桁製作工歩掛 (人/コンクリート10 m²当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td>橋りょう特殊工</td> <td>土木一般世話役</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1.3</td> <td style="text-align: center;">4.4</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工</td> <td>型わく工</td> <td>とび工</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5.1</td> <td style="text-align: center;">3.9</td> <td style="text-align: center;">0.6</td> <td style="text-align: center;">9.2</td> </tr> </table> <p>(注) 1. コンクリート打設方法は、門型クレーン打設を標準とする。 2. コンクリート養生は、散水、給熱を問わず適用出来る。 3. 重量台車による縦移動仮置きは、別途計上する。</p> <p>3-2 諸雑費 諸雑費は、ポストテンション桁製作工にかかわる材料費(鉄筋、鋼製シース、グラウト材(超低粘性型)、グラウトホース、ビニルテープ等)、消耗品費及び電力に関する経費等の費用であり、表3.1の労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>諸雑費率</td> <td style="text-align: center;">31</td> </tr> </table> <p>4. 使 用 材 料 使用材料として計上するものはコンクリート、PCケーブル、定着具のみとし、コンクリート、PCケーブルの使用量は次式による。また、定着具は必要数量計上する。なお、PCケーブルの切断ロス等のスクラップ控除はしない。</p> <p style="text-align: center;">使用量=設計量×(1+K) ……式4.1 K: ロス率</p> <p style="text-align: center;">表4.1 ロス率(K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>材 料</td> <td>ロス率</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td style="text-align: center;">+0.02</td> </tr> <tr> <td>PCケーブル</td> <td style="text-align: center;">+0.05</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">IV-7-⑦-2</p>	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	土木一般世話役	特殊作業員	1.3	4.4	1.7	1.5	鉄筋工	型わく工	とび工	普通作業員	5.1	3.9	0.6	9.2	諸雑費率	31	材 料	ロス率	コンクリート	+0.02	PCケーブル	+0.05	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>3-2 諸雑費 諸雑費は、ポストテンション桁製作工にかかわる材料費(鉄筋、鋼製シース、グラウト材(超低粘性型)、グラウトホース、ビニルテープ等)、消耗品費及び電力に関する経費等の費用であり、表3.1の労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>諸雑費率</td> <td style="text-align: center;">31 38</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	諸雑費率	31 38	<p>記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>	<p>(控え頁)</p> <p>2/3</p>
橋りょう世話役	橋りょう特殊工	土木一般世話役	特殊作業員																										
1.3	4.4	1.7	1.5																										
鉄筋工	型わく工	とび工	普通作業員																										
5.1	3.9	0.6	9.2																										
諸雑費率	31																												
材 料	ロス率																												
コンクリート	+0.02																												
PCケーブル	+0.05																												
諸雑費率	31 38																												
積算上の注意事項			(控え頁)																										

改正理由	一部改正	改正		備考																																																						
		現	行																																																							
	<p>5. 機種の選定等</p> <p>5-1 機種の選定</p> <p>ポストテンション桁製作工に、使用する機械・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 機種の選定 (1工事当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業種別</th> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">供用日数</th> <th colspan="2">損 料 額</th> </tr> <tr> <th>規 格</th> <th>円/供用日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">緊 張 工</td> <td rowspan="3">緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td rowspan="3">各種</td> <td rowspan="3">組</td> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">A</td> <td>1300kN(130 t)型</td> <td>7,470</td> </tr> <tr> <td>2200kN(225 t)型</td> <td>8,200</td> </tr> <tr> <td>3100kN(320 t)型</td> <td>11,400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">門型クレーン工</td> <td rowspan="2">門型クレーン 電動ホイスト</td> <td rowspan="2">[3.0 t 吊電動 ホイスト] 3.0 t 吊用</td> <td rowspan="2">基 台</td> <td>1</td> <td>A</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">11,100</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>主桁製作用型枠</td> <td>鋼製型枠</td> <td>ポストテンション 桁用</td> <td>m²・日</td> <td>必要量</td> <td>A</td> <td>1組当りの 型枠面積を計上</td> <td>412</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. A=供用日数 $=0.16 \times V \times \alpha + 20$ V: コンクリート設計量 (m³) α: 供用日補正係数 供用日補正係数は、下記による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">α</th> <th colspan="3">支間長 L (m)</th> </tr> <tr> <th>L ≤ 35</th> <th>35 < L ≤ 40</th> <th>40 < L ≤ 45</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1.0</td> <td>0.73</td> <td>0.60</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 鋼製型枠面積の算出にあたっては、側部及び端部面積のみとし、定着部面積は考慮しないものとする。なお、底型枠は主桁製作台を利用する。</p> <p>3. 鋼製型枠は1組を標準とし必要数量を計上する。</p> <p>5-2 雑機械費</p> <p>雑機械費は、ポストテンション桁製作工に必要な表5.1の機械器具を除く雑機械(グラウトポンプ、グラウト流量計、水槽、空気圧縮機、真空ポンプ等)の損料等の費用であり、表5.1の機械器具損料の合計額に次表の率を乗じた額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 雑機械費率 (%)</p> <table border="1"> <tr> <td>雑機械費率</td> <td>86</td> </tr> </table>	作業種別	名 称	規 格	単 位	数 量	供用日数	損 料 額		規 格	円/供用日	緊 張 工	緊張ジャッキ・ポンプ	各種	組	2	A	1300kN(130 t)型	7,470	2200kN(225 t)型	8,200	3100kN(320 t)型	11,400	門型クレーン工	門型クレーン 電動ホイスト	[3.0 t 吊電動 ホイスト] 3.0 t 吊用	基 台	1	A		11,100	1	A	主桁製作用型枠	鋼製型枠	ポストテンション 桁用	m ² ・日	必要量	A	1組当りの 型枠面積を計上	412	α	支間長 L (m)			L ≤ 35	35 < L ≤ 40	40 < L ≤ 45		1.0	0.73	0.60	雑機械費率	86	<p>現行どおり</p> <p>(注) 1. A=供用日数 $=0.16 \times 0.19 \times V \times \alpha + 20.24$ V: コンクリート設計量 (m³) α: 供用日補正係数 供用日補正係数は、下記による。</p> <p>現行どおり</p> <p>5-2 雑機械費</p> <p>雑機械費は、ポストテンション桁製作工に必要な表5.1の機械器具を除く雑機械(グラウトポンプ、グラウト流量計、水槽、空気圧縮機、真空ポンプ等)の損料等の費用であり、表5.1の機械器具損料の合計額に次表の率を乗じた額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 雑機械費率 (%)</p> <table border="1"> <tr> <td>雑機械費率</td> <td>86.83</td> </tr> </table>	雑機械費率	86.83	<p>記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>
作業種別	名 称							規 格	単 位	数 量	供用日数							損 料 額																																								
		規 格	円/供用日																																																							
緊 張 工	緊張ジャッキ・ポンプ	各種	組	2	A	1300kN(130 t)型	7,470																																																			
						2200kN(225 t)型	8,200																																																			
						3100kN(320 t)型	11,400																																																			
門型クレーン工	門型クレーン 電動ホイスト	[3.0 t 吊電動 ホイスト] 3.0 t 吊用	基 台	1	A		11,100																																																			
				1	A																																																					
主桁製作用型枠	鋼製型枠	ポストテンション 桁用	m ² ・日	必要量	A	1組当りの 型枠面積を計上	412																																																			
α	支間長 L (m)																																																									
	L ≤ 35	35 < L ≤ 40	40 < L ≤ 45																																																							
	1.0	0.73	0.60																																																							
雑機械費率	86																																																									
雑機械費率	86.83																																																									
積算上の注意事項				(控え頁) 3/3																																																						

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																							
	<p align="center">⑧ プレキャストセグメント主桁組立工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、プレキャストセグメント工法（A又はB活荷重桁）の主桁組立工（中空桁、T桁、少数桁、PCコンボ桁）に適用する（主桁質量160t程度以下）。 なお、架設工は「第IV編第7章③PC橋架設工」により別途計上する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p align="center">(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p align="center">表3.1 機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>セグメント質量 (t)</th> <th>クレーンの規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">ラフテレーン</td> <td>9.0以下</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 16t吊</td> </tr> <tr> <td>9.0超え11.0以下</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 20t吊</td> </tr> <tr> <td>11.0超え16.0以下</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t吊</td> </tr> <tr> <td>16.0超え17.0以下</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 35t吊</td> </tr> <tr> <td>17.0超え21.0以下</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 50t吊</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">トラック</td> <td>21.0超え22.0以下</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 60t吊</td> </tr> <tr> <td>22.0超え32.0以下</td> <td>油圧伸縮ジブ型100t吊</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>32.0超え33.0以下</td> <td>油圧伸縮ジブ型120t吊</td> </tr> </tbody> </table> <p align="center">(注) 1. クレーン規格は、取卸用の標準であり、上表以外の場合は別途選定出来る。 2. クレーンは、賃料とする。 3. クレーンの選定について、クレーンが、トレーラと並列に配置される現場、もしくは、架設桁の背後にクレーン回転部のすぐ側まで寄れる現場を標準としている。作業現場が上記により難しい場合は、別途考慮する。 4. セグメント質量が均一でない場合、セグメントの最大質量でクレーンを選定する。</p> <p align="center">IV-7-⑧-1</p>	機 械 名	セグメント質量 (t)	クレーンの規格	ラフテレーン	9.0以下	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 16t吊	9.0超え11.0以下	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 20t吊	11.0超え16.0以下	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t吊	16.0超え17.0以下	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 35t吊	17.0超え21.0以下	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 50t吊	トラック	21.0超え22.0以下	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 60t吊	22.0超え32.0以下	油圧伸縮ジブ型100t吊			32.0超え33.0以下	油圧伸縮ジブ型120t吊	<p align="center">⑧ プレキャストセグメント主桁組立工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、プレキャストセグメント工法（A又はB活荷重桁）の主桁組立工（中空桁、T桁、少数桁、PCコンボ桁）に適用する（主桁質量160t程度以下）。 なお、架設工は「第IV編第7章③PC橋架設工」により別途計上する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p align="center">(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図2-1 施工フロー</p> <p align="center">現行どおり</p>	<p align="center">記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>
機 械 名	セグメント質量 (t)	クレーンの規格																								
ラフテレーン	9.0以下	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 16t吊																								
	9.0超え11.0以下	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 20t吊																								
	11.0超え16.0以下	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t吊																								
	16.0超え17.0以下	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 35t吊																								
	17.0超え21.0以下	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 50t吊																								
トラック	21.0超え22.0以下	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 60t吊																								
	22.0超え32.0以下	油圧伸縮ジブ型100t吊																								
		32.0超え33.0以下	油圧伸縮ジブ型120t吊																							
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																							

工 種	プレキャストセグメント主桁組立工
-----	------------------

改正理由	一部改正	改正	
		現 行	

現	行	改	正	備 考
---	---	---	---	-----

4. 施 工 歩 掛

4-1 プレキャストセグメント主桁組立工

プレキャストセグメント主桁組立工とはフロー図の示す通り、セグメントの取卸から緊張、グラウト注入までのプレキャストセグメント桁の組立にかかる一連の作業であり、歩掛は次表を標準とする。

表4.1 プレキャストセグメント主桁組立工歩掛

桁種別	分割数	日当り施工量(本/日)	編成人員(人/日)	
中空桁	3	D=-0.1063・H+1.1 ただしHは0.7≦H≦1.5	橋りょう世話役	1
	5	D=-0.1133・H+0.85 ただしHは1.0≦H≦1.5		
T桁 少数桁 PCコンボ桁 (多径間 含む)	3	D=-0.1098・H+1.05 ただしHは1.5≦H≦2.5	橋りょう特殊工	5
	5	D=-0.0751・H+0.63 ただしHは1.5≦H≦3.0	普通作業員	3

D:日当り施工量(本/日)

H:桁高(m)

(注)日当り施工量Dは、少数第2位を四捨五入し、第1位とする。

4-2 諸雑費

諸雑費は、接着剤、グラウト、コンクリート(端部)、型枠用合板、はく離剤等の材料費、表6.1の機械器具を除く雑機械の損料等の経費、プレキャストセグメント桁組立に必要な消耗品費、電力に関わる経費等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表4.2 諸雑费率 (%)

	3分割			5分割		
	中空桁	T桁 少数桁 PCコンボ桁 (多径間)	PCコンボ桁 (多径間)	中空桁	T桁 少数桁 PCコンボ桁 (多径間)	PCコンボ桁 (多径間)
諸 雑 費 率	35	37	49	43	39	58

(注)PCコンボ桁(多径間)諸雑费率は架設桁による架設を行う場合にのみ適用出来る。

5. 使 用 材 料

使用材料として計上するものはPCケーブルのみとし、使用量は次式による。なお、定着装置は製作に含まれるので計上しない。

使用量(m) = 設計量(m) × (1 + K) ……式5.1

K:ロス率

表5.1 ロス率(K)

材 料	ロ ス 率
PCケーブル	+0.05

(注) 上表のロス率はPCケーブルの切断ロス、つかみ代等の補正でありスクラップ控除はしない。

IV-7-⑧-2

4. 施 工 歩 掛

4-1 プレキャストセグメント主桁組立工

プレキャストセグメント主桁組立工とはフロー図の示す通り、セグメントの取卸から緊張、グラウト注入までのプレキャストセグメント桁の組立にかかる一連の作業であり、歩掛は次表を標準とする。

表4.1 プレキャストセグメント主桁組立工歩掛

桁種別	分割数	日当り施工量(本/日)	編成人員(人/日)	
中空桁	3	D=-0.1063・H+1.1 D=-0.1095・H+1.13 ただしHは0.7≦H≦1.5	橋りょう世話役	1
	5	D=-0.1133・H+0.85 D=-0.1167・H+0.88 ただしHは1.0≦H≦1.5		
T桁 少数桁 PCコンボ桁 (多径間 含む)	3	D=-0.1098・H+1.05 D=-0.1131・H+1.08 ただしHは1.5≦H≦2.5	橋りょう特殊工	5
	5	D=-0.0751・H+0.63 D=-0.0774・H+0.65 ただしHは1.5≦H≦3.0	普通作業員	3

D:日当り施工量(本/日)

H:桁高(m)

(注)日当り施工量Dは、少数第2位を四捨五入し、第1位とする。

4-2 諸雑費

諸雑費は、プレキャストセグメント組立工にかかわる材料費(接着剤、グラウト材(超低粘性型)、コンクリート(端部)、型枠用合板、はく離剤等)の材料費、機械器具費(表6.1の機械器具を除く雑機械(重量台車(引き出し用・調整用)、レバーブロック、軌条、グラウトポンプ、ウインチ、ワイヤロープ、グラウト流量計、水櫃、真空ポンプ、発動発電機、空気圧縮機等)、~~プレキャストセグメント桁組立に必要な~~消耗品費、電力に関わる経費等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表4.2 諸雑费率 (%)

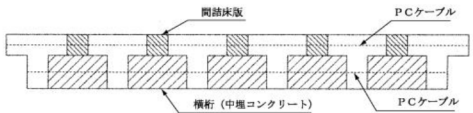
	3分割			5分割		
	中空桁	T桁 少数桁 PCコンボ桁 (多径間)	PCコンボ桁 (多径間)	中空桁	T桁 少数桁 PCコンボ桁 (多径間)	PCコンボ桁 (多径間)
諸 雑 費 率	35 65	37 71	49 82	43 76	39 71	58 87

(注)PCコンボ桁(多径間)諸雑费率は架設桁による架設を行う場合にのみ適用出来る。

現行どおり

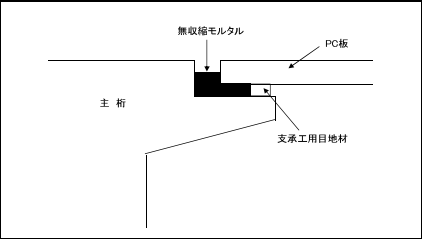
積算上の注意事項		(控え頁)
		2/2

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																															
現	行	改 正	備 考																															
<p>4-6 その他</p> <p>4-6-1 アンカー工 アンカー工は、架設設計により計上する。なお、アンカーに既設構造物が使用出来る場合は、既設構造物に埋設するアンカーフレーム費用（材料費、製作費、復旧費）を別途計上する。 アンカーを土中に設置する場合は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.5 アンカー1箇所当り作業人員及び使用材料 (1箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">編成人員(人)</th> <th colspan="2">使用材料</th> </tr> <tr> <th>橋りょう世話役</th> <th>橋りょう特殊工</th> <th>普通作業員</th> <th>枕木(本)</th> <th>ワイヤ(m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td>0.8</td> <td>2.1m×0.14m×0.2m</td> <td>4号品φ16 A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 使用材料は全損とする。</p> <p>4-6-2 架設機械器具経費</p> <p>(1) 機械器具費 架設機械（架設桁、桁吊装置、横取り・引出し、軌道）器具費は、「請負工事機械経費積算要領」による。供用日数は、次式による。 供用日数=(架設工日数+架設桁据付・解体日数+架設桁移動日数)×供用日数率・・・・・・式4.1 供用日数率=1.8 供用日数が、架設時期、地域条件等により上記により難い場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、架設工具等の費用及び電力に関する経費等の費用であり、架設機械器具費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.6 諸雑费率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポストテンション桁</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>プレキャストセグメント桁</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">IV-7-⑨-7</p>	編成人員(人)			使用材料		橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員	枕木(本)	ワイヤ(m)	0.3	0.4	0.8	2.1m×0.14m×0.2m	4号品φ16 A種				3	15		(%)	ポストテンション桁	11	プレキャストセグメント桁	9	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表4.6 諸雑费率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポストテンション桁</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>プレキャストセグメント桁</td> <td>9 8</td> </tr> </tbody> </table>		(%)	ポストテンション桁	11	プレキャストセグメント桁	9 8	<p style="text-align: center;">記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>
編成人員(人)			使用材料																															
橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員	枕木(本)	ワイヤ(m)																														
0.3	0.4	0.8	2.1m×0.14m×0.2m	4号品φ16 A種																														
			3	15																														
	(%)																																	
ポストテンション桁	11																																	
プレキャストセグメント桁	9																																	
	(%)																																	
ポストテンション桁	11																																	
プレキャストセグメント桁	9 8																																	
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>1/6</p>																															

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 — 現 行	備 考																													
現	行	改 正	備 考																													
<p>5. 横 組 工</p> <p>横組工とは、横桁中埋コンクリート、間詰床版及び横筋の一連作業で、その内訳は次のとおりである。</p>  <p style="text-align: center;">参考図</p> <p>5-1 鉄筋工</p> <p>5-1-1 鉄筋加工・組立</p> <p>(1) 間詰床版及び横筋の鉄筋加工・組立歩掛は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.1 間詰床版及び横筋の鉄筋加工・組立歩掛 (1 t 当り)</caption> <thead> <tr> <th colspan="3">編成人員(人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率(%)</th> </tr> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>鉄筋工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">3.8</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 本歩掛は、現場内小運搬を含む。 2. 諸雑費は、結束線、溶接棒及び電力に関する経費等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>5-1-2 鉄筋使用量</p> <p>鉄筋の使用量は次式とし、スクラップ控除はしない。 使用量(t) = 設計量(t) × (1 + K) ……式 5.1</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.2 ロス率(K)</caption> <thead> <tr> <th>ロス率</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">+0.05</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>5-2 コンクリート工</p> <p>横組の型枠及びコンクリート作業に適用し、PC合成桁橋の床版は含まない。</p> <p>5-2-1 打設工法</p> <p>打設工法はコンクリートポンプ車による打設を標準とする。</p> <p>5-2-2 コンクリートポンプ車の規格</p> <p>コンクリートポンプ車の規格は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.3 コンクリートポンプ車の規格</caption> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力 90~110 m³/h</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">IV-7-⑨-8</p>	編成人員(人)			諸雑費率(%)	土木一般世話役	鉄筋工	普通作業員	0.8	3.8	1.7	5	ロス率		+0.05		機 械 名	規 格	コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力 90~110 m ³ /h	<p>現行どおり</p> <p>5-1 鉄筋工</p> <p>5-1-1 鉄筋加工・組立</p> <p>(1) 間詰床版及び横筋の鉄筋加工・組立歩掛は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表5.1 間詰床版及び横筋の鉄筋加工・組立歩掛 (1 t 当り)</caption> <thead> <tr> <th colspan="3">編成人員(人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率(%)</th> </tr> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>鉄筋工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">3.8</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 本歩掛は、現場内小運搬を含む。 2. 諸雑費は、結束線、溶接棒及び電力に関する経費等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>現行どおり</p>	編成人員(人)			諸雑費率(%)	土木一般世話役	鉄筋工	普通作業員	0.8	3.8	1.7	4	記載の変更 (歩掛改定に伴う)
編成人員(人)			諸雑費率(%)																													
土木一般世話役	鉄筋工	普通作業員																														
0.8	3.8	1.7	5																													
ロス率																																
+0.05																																
機 械 名	規 格																															
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力 90~110 m ³ /h																															
編成人員(人)			諸雑費率(%)																													
土木一般世話役	鉄筋工	普通作業員																														
0.8	3.8	1.7	4																													
積算上の注意事項			(控え頁) 2/6																													

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行	備考																																																																																
現	行	改 正	備 考																																																																																
<p>5-2-3 コンクリート工歩掛 型枠の製作、設置・撤去、コンクリートポンプ車による打設及び養生歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 コンクリート工歩掛 (10㎡当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">桁区分</th> <th colspan="4">編 成 人 員 (人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>橋りよう世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>型わく工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレテンションT桁、ポストテンション桁</td> <td>2.9</td> <td>4.0</td> <td>9.3</td> <td>9.1(7.5)</td> <td>9(7)</td> </tr> <tr> <td>プレテンション床版桁</td> <td>1.6</td> <td>1.7</td> <td>2.5</td> <td>3.9(2.4)</td> <td>10(5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. コンクリートポンプ車の運転時間はコンクリート10㎡当り1.5時間とする。 2. 本歩掛はブーム打設を標準としているが困難な場合、又は現場条件により配管打設が適する場合は、上記歩掛にて配管打設も適用出来る。なお、配管式コンクリートポンプ車の規格は90~100㎡/hとする。 3. 配管打設の場合の圧送管組立・撤去労務(30m以下)を含むものとし、30mを超える場合は「第Ⅱ編 第4章コンクリート①コンクリート工」による。 4. ブーム打設は打設高さ15m以下、投入水平距離15m以下の場合に適用する。 5. 1日当り打設量は40㎡を標準とする。 6. 諸雑費は、型枠用材料、剥離材、養生マット及び電力に関する経費等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 養生については、養生覆材の被覆・水散布養生を標準とする。養生面積は、間詰床版の面積とする。保温養生又は給熱養生等の特別な養生を必要とする場合の普通作業員の歩掛及び諸雑費率は、()内数値とし、養生費用は別途計上する。</p> <p>5-2-4 コンクリート使用量 コンクリート使用量は、次式による。 使用量(㎡)=設計量(㎡)×(1+K)……………式5.2 K:ロス率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">ロス率</td> <td style="text-align: center;">+0.05</td> </tr> </table> <p>5-3 PC工 5-3-1 PC工歩掛 ケーブルの切断、シースの組立、ケーブルの挿入、整正、グラウト注入歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 PC工歩掛 (ケーブル100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">桁形式</th> <th rowspan="2">種 類</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th colspan="3">編 成 人 員 (人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>橋りよう世話役</th> <th>橋りよう特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">プレテンション桁</td> <td rowspan="3">シングルストランドシステム</td> <td>390KN(40t)型(S17.8)</td> <td rowspan="3">0.65</td> <td rowspan="3">2.0</td> <td rowspan="3">1.2</td> <td rowspan="3">39</td> </tr> <tr> <td>450KN(50t)型(S19.3)</td> </tr> <tr> <td>570KN(60t)型(S21.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ポストテンション桁</td> <td rowspan="3">シングルストランドシステム</td> <td>390KN(40t)型(S17.8)</td> <td rowspan="3">0.67</td> <td rowspan="3">3.1</td> <td rowspan="3">1.8</td> <td rowspan="3">23</td> </tr> <tr> <td>450KN(50t)型(S19.3)</td> </tr> <tr> <td>570KN(60t)型(S21.8)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>950KN(100t)型(S29.6)</td> <td>0.97</td> <td>3.5</td> <td>1.5</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ケーブル延長は、定着装置内面間の実延長とする。 2. 諸雑費は、PC工にかかわる材料費(鋼製シース、グラウト材(超低粘性型)、グラウトホース、ビニルテープ等)、機械器具費(グラウトポンプ、グラウト流量計、水槽、空気圧縮機等)及び電力に関する経費</p>	桁区分	編 成 人 員 (人)				諸雑費率 (%)	橋りよう世話役	特殊作業員	型わく工	普通作業員	プレテンションT桁、ポストテンション桁	2.9	4.0	9.3	9.1(7.5)	9(7)	プレテンション床版桁	1.6	1.7	2.5	3.9(2.4)	10(5)	ロス率	+0.05	桁形式	種 類	規 格	編 成 人 員 (人)			諸雑費率 (%)	橋りよう世話役	橋りよう特殊工	普通作業員	プレテンション桁	シングルストランドシステム	390KN(40t)型(S17.8)	0.65	2.0	1.2	39	450KN(50t)型(S19.3)	570KN(60t)型(S21.8)	ポストテンション桁	シングルストランドシステム	390KN(40t)型(S17.8)	0.67	3.1	1.8	23	450KN(50t)型(S19.3)	570KN(60t)型(S21.8)			950KN(100t)型(S29.6)	0.97	3.5	1.5	29	<p>5-2-3 コンクリート工歩掛 型枠の製作、設置・撤去、コンクリートポンプ車による打設及び養生歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 コンクリート工歩掛 (10㎡当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">桁区分</th> <th colspan="4">編 成 人 員 (人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>橋りよう世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>型わく工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレテンションT桁、ポストテンション桁</td> <td>2.9</td> <td>4.0</td> <td>9.3</td> <td>9.1(7.5)</td> <td>9.8(7)</td> </tr> <tr> <td>プレテンション床版桁</td> <td>1.6</td> <td>1.7</td> <td>2.5</td> <td>3.9(2.4)</td> <td>10(5)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	桁区分	編 成 人 員 (人)				諸雑費率 (%)	橋りよう世話役	特殊作業員	型わく工	普通作業員	プレテンションT桁、ポストテンション桁	2.9	4.0	9.3	9.1(7.5)	9.8(7)	プレテンション床版桁	1.6	1.7	2.5	3.9(2.4)	10(5)	<p style="text-align: center;">記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>
桁区分		編 成 人 員 (人)					諸雑費率 (%)																																																																												
	橋りよう世話役	特殊作業員	型わく工	普通作業員																																																																															
プレテンションT桁、ポストテンション桁	2.9	4.0	9.3	9.1(7.5)	9(7)																																																																														
プレテンション床版桁	1.6	1.7	2.5	3.9(2.4)	10(5)																																																																														
ロス率	+0.05																																																																																		
桁形式	種 類	規 格	編 成 人 員 (人)			諸雑費率 (%)																																																																													
			橋りよう世話役	橋りよう特殊工	普通作業員																																																																														
プレテンション桁	シングルストランドシステム	390KN(40t)型(S17.8)	0.65	2.0	1.2	39																																																																													
		450KN(50t)型(S19.3)																																																																																	
		570KN(60t)型(S21.8)																																																																																	
ポストテンション桁	シングルストランドシステム	390KN(40t)型(S17.8)	0.67	3.1	1.8	23																																																																													
		450KN(50t)型(S19.3)																																																																																	
		570KN(60t)型(S21.8)																																																																																	
		950KN(100t)型(S29.6)	0.97	3.5	1.5	29																																																																													
桁区分	編 成 人 員 (人)				諸雑費率 (%)																																																																														
	橋りよう世話役	特殊作業員	型わく工	普通作業員																																																																															
プレテンションT桁、ポストテンション桁	2.9	4.0	9.3	9.1(7.5)	9.8(7)																																																																														
プレテンション床版桁	1.6	1.7	2.5	3.9(2.4)	10(5)																																																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 3/6																																																																																

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行	備考																																																																									
現	行	改 正	備 考																																																																									
<p>5-3-2 PCケーブル使用量 PCケーブルの使用量は、次式による。 使用量(m) = 設計量(m) × (1 + K)……………式5.3 K : ロス率</p> <p style="text-align: center;">表5.7 ロス率(K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">ロス率</td> <td style="text-align: center;">+0.05</td> </tr> </table> <p>(注) 上表のロス率はPCケーブルの切断ロス、つかみ代等の補正でありスクラップ控除はしない。</p> <p>5-4 緊張工 5-4-1 緊張工歩掛 定着装置の設置、緊張、モルタルあと埋め作業の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.8 緊張工歩掛 (10ケーブル当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 類</th> <th colspan="2">規 格</th> <th colspan="3">編成人員(人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">PCケーブル</th> <th>橋りよう世話役</th> <th>橋りよう特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">シングルストランドシステム</td> <td colspan="2">390kN(40 t)型(1S17.8)</td> <td rowspan="2">0.4</td> <td rowspan="2">1.2</td> <td rowspan="2">0.6</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">450kN(50 t)型(1S19.3)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">570kN(60 t)型(1S21.8)</td> <td rowspan="2">0.6</td> <td rowspan="2">1.4</td> <td rowspan="2">0.6</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">950kN(100 t)型(1S28.6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 緊張は片縮めを標準とする。 2. 諸雑費は電力に関する経費等であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>5-4-2 使用材料 使用材料として、定着装置を別途計上する。</p> <p>5-4-3 機械器具損料 機械器具損料は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.9 機械器具損料 (1工事当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>器 具 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>供 用 日 数</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>横組工</td> <td>緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td></td> <td>組</td> <td>1</td> <td>H</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) $H = \frac{n}{N} \times K \times 1.7$ K : 1 工事の径間数 n : 1 径間片縮め本数 N : 1 日当りの片縮め本数 1 日当りの片縮め本数は、39 本を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">IV-7-⑨-10</p>	ロス率	+0.05	種 類	規 格		編成人員(人)			諸雑費率 (%)	PCケーブル		橋りよう世話役	橋りよう特殊工	普通作業員	シングルストランドシステム	390kN(40 t)型(1S17.8)		0.4	1.2	0.6	4	450kN(50 t)型(1S19.3)		570kN(60 t)型(1S21.8)		0.6	1.4	0.6	3	950kN(100 t)型(1S28.6)		作業種別	器 具 名	規 格	単 位	数 量	供 用 日 数	摘 要	横組工	緊張ジャッキ・ポンプ		組	1	H		<p style="font-size: 2em; text-align: center;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>5-4 緊張工 5-4-1 緊張工歩掛 定着装置の設置、緊張、モルタルあと埋め作業の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.8 緊張工歩掛 (10ケーブル当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 類</th> <th colspan="2">規 格</th> <th colspan="3">編成人員(人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">PCケーブル</th> <th>橋りよう世話役</th> <th>橋りよう特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">シングルストランドシステム</td> <td colspan="2">390kN(40 t)型(1S17.8)</td> <td rowspan="2">0.4</td> <td rowspan="2">1.2</td> <td rowspan="2">0.6</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">450kN(50 t)型(1S19.3)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">570kN(60 t)型(1S21.8)</td> <td rowspan="2">0.6</td> <td rowspan="2">1.4</td> <td rowspan="2">0.6</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">950kN(100 t)型(1S28.6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 緊張は片縮めを標準とする。 2. 諸雑費は電力に関する経費等であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	種 類	規 格		編成人員(人)			諸雑費率 (%)	PCケーブル		橋りよう世話役	橋りよう特殊工	普通作業員	シングルストランドシステム	390kN(40 t)型(1S17.8)		0.4	1.2	0.6	4	450kN(50 t)型(1S19.3)		570kN(60 t)型(1S21.8)		0.6	1.4	0.6	3	950kN(100 t)型(1S28.6)		<p>記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>
ロス率	+0.05																																																																											
種 類	規 格		編成人員(人)			諸雑費率 (%)																																																																						
	PCケーブル		橋りよう世話役	橋りよう特殊工	普通作業員																																																																							
シングルストランドシステム	390kN(40 t)型(1S17.8)		0.4	1.2	0.6	4																																																																						
	450kN(50 t)型(1S19.3)																																																																											
	570kN(60 t)型(1S21.8)		0.6	1.4	0.6	3																																																																						
	950kN(100 t)型(1S28.6)																																																																											
作業種別	器 具 名	規 格	単 位	数 量	供 用 日 数	摘 要																																																																						
横組工	緊張ジャッキ・ポンプ		組	1	H																																																																							
種 類	規 格		編成人員(人)			諸雑費率 (%)																																																																						
	PCケーブル		橋りよう世話役	橋りよう特殊工	普通作業員																																																																							
シングルストランドシステム	390kN(40 t)型(1S17.8)		0.4	1.2	0.6	4																																																																						
	450kN(50 t)型(1S19.3)																																																																											
	570kN(60 t)型(1S21.8)		0.6	1.4	0.6	3																																																																						
	950kN(100 t)型(1S28.6)																																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 4/6																																																																									

改正理由	一部改正	改正 現行																																																		
現 行	改 正		備 考																																																	
<p>8. PC板工(PCコンボ桁のみ)</p> <p>PC板工とは、PC板支承工、PC板仮置工、PC板敷設工、継目工の一連作業で、その内訳は次のとおりである。なお、PC板仮置工は、必要な場合に計上する。</p> <p>8-1 PC板支承工</p> <p>PC板と主桁のなじみを得るため及び床版コンクリート打設時の漏れを防ぐために、支承工用目地材、無収縮モルタルを主桁上に打設する作業であり、PC板支承工歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 PC板支承工歩掛 (両側100m当り)</p> <table border="1" data-bbox="349 600 900 722"> <thead> <tr> <th colspan="2">編 成 人 員 (人)</th> <th colspan="2">使 用 材 料</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">橋りょう世話役</th> <th rowspan="2">普通作業員</th> <th>支承工用目地材 (m)</th> <th>無収縮モルタル (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>10×15mm</td> <td>プレミックスタイプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.4</td> <td>1.3</td> <td>205</td> <td>0.36</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、ハンドミキサー、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>無収縮モルタルの配合は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.2 無収縮モルタルの配合 (1m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="360 858 835 922"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>無収縮剤</td> <td>セメント系 プレミックスタイプ</td> <td>kg</td> <td>1,875</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>338</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表にはロスを含む。</p> <div style="text-align: center;"> <p>PC板支承部断面図</p>  <p>参考図</p> <p>IV-7-⑨-15</p> </div>	編 成 人 員 (人)		使 用 材 料		諸雑費率 (%)	橋りょう世話役	普通作業員	支承工用目地材 (m)	無収縮モルタル (m ³)			10×15mm	プレミックスタイプ		0.4	1.3	205	0.36	5	名称	規格	単位	数量	無収縮剤	セメント系 プレミックスタイプ	kg	1,875	水		ℓ	338	<p style="text-align: center;">} 現行どおり</p> <p>8-1 PC板支承工</p> <p>PC板と主桁のなじみを得るため及び床版コンクリート打設時の漏れを防ぐために、支承工用目地材、無収縮モルタルを主桁上に打設する作業であり、PC板支承工歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 PC板支承工歩掛 (両側100m当り)</p> <table border="1" data-bbox="1229 600 1787 732"> <thead> <tr> <th colspan="2">編 成 人 員 (人)</th> <th colspan="2">使 用 材 料</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">橋りょう世話役</th> <th rowspan="2">普通作業員</th> <th>支承工用目地材 (m)</th> <th>無収縮モルタル (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>10×15mm</td> <td>プレミックスタイプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.4</td> <td>1.3</td> <td>205</td> <td>0.36</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、ハンドミキサー、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p>	編 成 人 員 (人)		使 用 材 料		諸雑費率 (%)	橋りょう世話役	普通作業員	支承工用目地材 (m)	無収縮モルタル (m ³)			10×15mm	プレミックスタイプ		0.4	1.3	205	0.36	4	<p style="text-align: center;">記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>
編 成 人 員 (人)		使 用 材 料		諸雑費率 (%)																																																
橋りょう世話役	普通作業員	支承工用目地材 (m)	無収縮モルタル (m ³)																																																	
				10×15mm	プレミックスタイプ																																															
0.4	1.3	205	0.36	5																																																
名称	規格	単位	数量																																																	
無収縮剤	セメント系 プレミックスタイプ	kg	1,875																																																	
水		ℓ	338																																																	
編 成 人 員 (人)		使 用 材 料		諸雑費率 (%)																																																
橋りょう世話役	普通作業員	支承工用目地材 (m)	無収縮モルタル (m ³)																																																	
				10×15mm	プレミックスタイプ																																															
0.4	1.3	205	0.36	4																																																
積算上の注意事項			(控え頁) 5/6																																																	

改正理由	一部改正		改正	備考																																							
	現	行	現行																																								
8-2 PC板仮置工 現場に搬入されたPC板を積載車両から取卸し、一度仮置きした後に敷設する場合に計上するものとし、積載車両を搬入後も待機させる等により直接敷設することが可能な場合は計上しない。 PC板仮置工歩掛は次表を標準とする。	<p align="center">表8.3 PC板仮置工歩掛 (100枚当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">編 成 人 員 (人)</th> <th>使 用 機 械</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">橋りよう世話役</td> <td rowspan="2">橋りよう特殊工</td> <td rowspan="2">普通作業員</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> </tr> <tr> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> </tr> <tr> <td>0.8</td> <td>2.9</td> <td>0.2</td> <td>1.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表の機種規格を標準とするが、現場条件等により、これにより難い場合は別途考慮する。 なお、ラフテレーンクレーンは賃料とする。</p>		編 成 人 員 (人)			使 用 機 械	橋りよう世話役	橋りよう特殊工	普通作業員	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	0.8	2.9	0.2	1.3	<p align="center">現行どおり</p>																											
編 成 人 員 (人)			使 用 機 械																																								
橋りよう世話役	橋りよう特殊工	普通作業員	ラフテレーンクレーン																																								
			油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊																																								
0.8	2.9	0.2	1.3																																								
8-3 PC板敷設工 PC板を敷設する作業であり、PC板敷設工歩掛は次表を標準とする。	<p align="center">表8.4 PC板敷設工歩掛 (10枚当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">編 成 人 員 (人)</th> <th>使 用 機 械</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">橋りよう世話役</td> <td rowspan="2">橋りよう特殊工</td> <td rowspan="2">普通作業員</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> </tr> <tr> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> </tr> <tr> <td>0.2</td> <td>0.9</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 橋梁の側面又は橋合背面より敷設できる場合に適用する。 2. 上表の機種規格を標準とするが、現場条件等により、これにより難い場合は別途考慮する。 なお、ラフテレーンクレーンは賃料とする。</p>		編 成 人 員 (人)			使 用 機 械	橋りよう世話役	橋りよう特殊工	普通作業員	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	0.2	0.9	0.2	0.2	8-4 継目工 PC板とPC板の継目に無収縮モルタルを充填する作業であり、継目工歩掛は次表を標準とする。	<p align="center">表8.5 継目工歩掛 (100m当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">編 成 人 員 (人)</th> <th>使 用 材 料</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">橋りよう世話役</td> <td rowspan="2">普通作業員</td> <td>無収縮モルタル (m3)</td> </tr> <tr> <td>プレミックスタイプ</td> </tr> <tr> <td>0.1</td> <td>1.1</td> <td>0.07</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、ハンドミキサー、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 無収縮モルタルの配合は、表 8.2 を標準とする。</p> <p align="center">IV-7-⑨-16</p>	編 成 人 員 (人)		使 用 材 料	諸雑費率 (%)	橋りよう世話役	普通作業員	無収縮モルタル (m3)	プレミックスタイプ	0.1	1.1	0.07	9	<p align="center">表8.5 継目工歩掛 (100m当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">編 成 人 員 (人)</th> <th>使 用 材 料</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">橋りよう世話役</td> <td rowspan="2">普通作業員</td> <td>無収縮モルタル (m3)</td> </tr> <tr> <td>プレミックスタイプ</td> </tr> <tr> <td>0.1</td> <td>1.1</td> <td>0.07</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、ハンドミキサー、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 無収縮モルタルの配合は、表 8.2 を標準とする。</p>	編 成 人 員 (人)		使 用 材 料	諸雑費率 (%)	橋りよう世話役	普通作業員	無収縮モルタル (m3)	プレミックスタイプ	0.1	1.1	0.07	8	記載の変更 (歩掛改定に伴う)
編 成 人 員 (人)			使 用 機 械																																								
橋りよう世話役	橋りよう特殊工	普通作業員	ラフテレーンクレーン																																								
			油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊																																								
0.2	0.9	0.2	0.2																																								
編 成 人 員 (人)		使 用 材 料	諸雑費率 (%)																																								
橋りよう世話役	普通作業員	無収縮モルタル (m3)																																									
		プレミックスタイプ																																									
0.1	1.1	0.07	9																																								
編 成 人 員 (人)		使 用 材 料	諸雑費率 (%)																																								
橋りよう世話役	普通作業員	無収縮モルタル (m3)																																									
		プレミックスタイプ																																									
0.1	1.1	0.07	8																																								
積算上の注意事項				(控え頁) 6/6																																							

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考																																																																																		
	現 行	改 正																																																																																			
	<p>11. P C 工 11-1 PC鋼橋工</p> <p>PC鋼橋工は、PC鋼橋、シースの加工組立、PC鋼橋挿入及びグラウト材の練混ぜ、注入等の作業で歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 11.1 PC鋼橋工歩掛 (PC鋼橋1t当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>φ 26(1B26A, 1B26B)</th> <th>φ 32(1B32A, 1B32B)</th> </tr> <tr> <th>横・鉛直斜締</th> <th>縦・横・鉛直斜締</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>#</td> <td style="text-align: center;">14.9</td> <td style="text-align: center;">13.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>#</td> <td style="text-align: center;">10.0</td> <td style="text-align: center;">7.5</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>日</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">0.5</td> </tr> <tr> <td>運 雑 費 率</td> <td>%</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛に現場内小運搬作業は含まれる。 2. ラフテレーンクレーンは賃料とし、ラフテレーンクレーン規格は、油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)25t吊を標準とする。ただし、これにより難しい場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定することが出来る。 3. 諸雑費は、鋼製シーソ、グラウト材、ビニルテープ、結束線及びシーソ棚筋等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>11-2 PC鋼橋継手工</p> <p>PC鋼橋継手工は、緊張されていないPC鋼橋にPC鋼橋を継ぎたす作業(普通継手)又は、緊張されたPC鋼橋を一次定着(緊張側、固定側)した後、さらにその鋼橋を継ぎたして行く作業(G継手)で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 11.2 PC鋼橋継手工歩掛 (10箇所当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>縦 締</th> </tr> <tr> <th>普通継手 G継手 φ 32(1B32A, 1B32B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>#</td> <td style="text-align: center;">1.4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>#</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、グラウトホース、ビニルテープ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>11-3 PC鋼橋定着工</p> <p>PC鋼橋定着工は、固定側の定着装置を組立て、型枠に取付ける作業であり、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 11.3 PC鋼橋定着工歩掛 (10箇所当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>φ 26(1B26A, 1B26B)</th> <th>φ 32(1B32A, 1B32B)</th> </tr> <tr> <th>横・鉛直斜締</th> <th>縦・横・鉛直斜締</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">19</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、グラウトホース、ビニルテープ及び結束線等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">IV-7-⑩-14</p>	名 称	単 位	φ 26(1B26A, 1B26B)	φ 32(1B32A, 1B32B)	横・鉛直斜締	縦・横・鉛直斜締	橋りょう世話役	人	1.7	1.6	橋りょう特殊工	#	14.9	13.6	普通作業員	#	10.0	7.5	ラフテレーンクレーン	日	0.5		運 雑 費 率	%	7		名 称	単 位	縦 締	普通継手 G継手 φ 32(1B32A, 1B32B)	橋りょう世話役	人	0.4	橋りょう特殊工	#	1.4	普通作業員	#	0.8	諸 雑 費 率	%	6	名 称	単 位	φ 26(1B26A, 1B26B)	φ 32(1B32A, 1B32B)	横・鉛直斜締	縦・横・鉛直斜締	橋りょう特殊工	人	1.2	1.1	諸 雑 費 率	%	19		<p>11. P C 工 11-1 PC鋼橋工</p> <p>PC鋼橋工は、PC鋼橋、シーソの加工組立、PC鋼橋挿入及びグラウト材の練混ぜ、注入等の作業で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 11.1 PC鋼橋工歩掛 (PC鋼橋1t当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>φ 26(1B26A, 1B26B)</th> <th>φ 32(1B32A, 1B32B)</th> </tr> <tr> <th>横・鉛直斜締</th> <th>縦・横・鉛直斜締</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>#</td> <td style="text-align: center;">14.914.6</td> <td style="text-align: center;">13.613.4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>#</td> <td style="text-align: center;">10.09.7</td> <td style="text-align: center;">7.57.3</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>日</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">0.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">711</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛に、現場内小運搬作業は含まれる。 2. ラフテレーンクレーンは賃料とし、ラフテレーンクレーン規格は、油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)25t吊を標準とする。ただし、これにより難しい場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。 3. 諸雑費は、鋼製シーソ、グラウト材(超低粘性型)、ビニルテープ、結束線及びシーソ棚筋等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	名 称	単 位	φ 26(1B26A, 1B26B)	φ 32(1B32A, 1B32B)	横・鉛直斜締	縦・横・鉛直斜締	橋りょう世話役	人	1.7	1.6	橋りょう特殊工	#	14.9 14.6	13.6 13.4	普通作業員	#	10.0 9.7	7.5 7.3	ラフテレーンクレーン	日	0.5		諸 雑 費 率	%	7 11		<p>記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>
名 称	単 位			φ 26(1B26A, 1B26B)	φ 32(1B32A, 1B32B)																																																																																
		横・鉛直斜締	縦・横・鉛直斜締																																																																																		
橋りょう世話役	人	1.7	1.6																																																																																		
橋りょう特殊工	#	14.9	13.6																																																																																		
普通作業員	#	10.0	7.5																																																																																		
ラフテレーンクレーン	日	0.5																																																																																			
運 雑 費 率	%	7																																																																																			
名 称	単 位	縦 締																																																																																			
		普通継手 G継手 φ 32(1B32A, 1B32B)																																																																																			
橋りょう世話役	人	0.4																																																																																			
橋りょう特殊工	#	1.4																																																																																			
普通作業員	#	0.8																																																																																			
諸 雑 費 率	%	6																																																																																			
名 称	単 位	φ 26(1B26A, 1B26B)	φ 32(1B32A, 1B32B)																																																																																		
		横・鉛直斜締	縦・横・鉛直斜締																																																																																		
橋りょう特殊工	人	1.2	1.1																																																																																		
諸 雑 費 率	%	19																																																																																			
名 称	単 位	φ 26(1B26A, 1B26B)	φ 32(1B32A, 1B32B)																																																																																		
		横・鉛直斜締	縦・横・鉛直斜締																																																																																		
橋りょう世話役	人	1.7	1.6																																																																																		
橋りょう特殊工	#	14.9 14.6	13.6 13.4																																																																																		
普通作業員	#	10.0 9.7	7.5 7.3																																																																																		
ラフテレーンクレーン	日	0.5																																																																																			
諸 雑 費 率	%	7 11																																																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 1/10																																																																																		

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現 行	備 考																																																																																																																
	現 行	改 正																																																																																																																	
	<p>11-4 PC鋼棒緊張工 PC鋼棒緊張工は、緊張側の定着装置の取付け及びPC鋼体の緊張作業で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 11.4 PC鋼棒緊張工歩掛 (10箇所当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>φ 26 (1B25A, 1B26B)</th> <th>φ 32 (1B32A, 1B32B)</th> </tr> <tr> <th>横・鉛直斜締</th> <th>縦・横・鉛直斜締</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>#</td> <td style="text-align: center;">3.3</td> <td style="text-align: center;">4.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>#</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、グラウトホース、ピニルテープ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>11-5 PCケーブル工 11-5-1 PCケーブル工歩掛 PCケーブル工は、PCケーブル、シースの加工組立、PCケーブル挿入及びグラウト材の補混せ、注入等の作業で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 11.5 PCケーブル工歩掛 (ケーブル1t当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>縦 締</th> <th>横 締</th> </tr> <tr> <th>1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)</th> <th>570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">4.4</td> <td style="text-align: center;">4.6</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>#</td> <td style="text-align: center;">23.3</td> <td style="text-align: center;">21.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>#</td> <td style="text-align: center;">17.3</td> <td style="text-align: center;">17.8</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン</td> <td>日</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">0.6</td> </tr> <tr> <td>運 転</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛に、現場内小運搬作業は含まれる。 2. ラフテレンクレーンは賃料を標準とし、ラフテレンクレーン規格は、油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)25t吊を標準とする。ただし、これにより難しい場合は、現場条件に適した規格のラフテレンクレーンを選定することが出来る。 3. 諸雑費は、シーシ、グラウト材、ピニルテープ、結束線及びシーシ棚筋等の費用であり労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>11-5-2 PCケーブル使用量 PCケーブル使用量は、次式による。 使用量(t) = 設計量(t) × (1 + K) ……式 11.1 K:ロス率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">ロス率</td> <td style="text-align: center;">+0.06</td> </tr> </table> <p>11-6 PCケーブル定着工 PCケーブル定着工は、PCケーブルを片引きする場合に固定側の定着装置を組立て、取付ける作業であり、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 11.7 PCケーブル定着工歩掛 (10箇所当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>縦 締</th> <th>横 締</th> </tr> <tr> <th>1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)</th> <th>570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">3.0</td> <td style="text-align: center;">2.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">41</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、定着部型枠、グラウトホース、ピニルテープ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	φ 26 (1B25A, 1B26B)	φ 32 (1B32A, 1B32B)	横・鉛直斜締	縦・横・鉛直斜締	橋りょう世話役	人	0.7	0.8	橋りょう特殊工	#	3.3	4.6	普通作業員	#	2.0	2.0	諸雑費率	%	4		名 称	単 位	縦 締	横 締	1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)	570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)	橋りょう世話役	人	4.4	4.6	橋りょう特殊工	#	23.3	21.5	普通作業員	#	17.3	17.8	ラフテレンクレーン	日	0.6		運 転				諸 雑 費 率	%	15		ロス率	+0.06	名 称	単 位	縦 締	横 締	1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)	570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)	橋りょう特殊工	人	3.0	2.1	諸 雑 費 率	%	18	41	<p>現行どおり</p> <p>11-5 PCケーブル工 11-5-1 PCケーブル工歩掛 PCケーブル工は、PCケーブル、シースの加工組立、PCケーブル挿入及びグラウト材の補混せ、注入等の作業で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 11.5 PCケーブル工歩掛 (ケーブル1t当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>縦 締</th> <th>横 締</th> </tr> <tr> <th>1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)</th> <th>570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">4.4 4.1</td> <td style="text-align: center;">4.6 4.4</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>#</td> <td style="text-align: center;">23.3 21.8</td> <td style="text-align: center;">21.5 20.7</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>#</td> <td style="text-align: center;">17.3 15.8</td> <td style="text-align: center;">17.8 17.0</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン</td> <td>日</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">0.6</td> </tr> <tr> <td>運 転</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">15 18</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛に、現場内小運搬作業は含まれる。 2. ラフテレンクレーンは賃料とし、ラフテレンクレーン規格は、油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)25t吊を標準とする。ただし、これにより難しい場合は、現場条件に適した規格のラフテレンクレーンを選定する。 3. 諸雑費は、鋼製シーシ、グラウト材(超低粘性型)、ピニルテープ、結束線及びシーシ棚筋等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>現行どおり</p> <p>11-6 PCケーブル定着工 PCケーブル定着工は、PCケーブルを片引きする場合に固定側の定着装置を組立て、取付ける作業であり、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 11.7 PCケーブル定着工歩掛 (10箇所当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>縦 締</th> <th>横 締</th> </tr> <tr> <th>1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)</th> <th>570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">3.0</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">41</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、定着部型枠、グラウトホース、ピニルテープ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	縦 締	横 締	1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)	570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)	橋りょう世話役	人	4.4 4.1	4.6 4.4	橋りょう特殊工	#	23.3 21.8	21.5 20.7	普通作業員	#	17.3 15.8	17.8 17.0	ラフテレンクレーン	日	0.6		運 転				諸 雑 費 率	%	15 18		名 称	単 位	縦 締	横 締	1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)	570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)	橋りょう特殊工	人	3.0	1.2	諸 雑 費 率	%	18	41	<p>記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>
名 称	単 位			φ 26 (1B25A, 1B26B)	φ 32 (1B32A, 1B32B)																																																																																																														
		横・鉛直斜締	縦・横・鉛直斜締																																																																																																																
橋りょう世話役	人	0.7	0.8																																																																																																																
橋りょう特殊工	#	3.3	4.6																																																																																																																
普通作業員	#	2.0	2.0																																																																																																																
諸雑費率	%	4																																																																																																																	
名 称	単 位	縦 締	横 締																																																																																																																
		1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)	570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)																																																																																																																
橋りょう世話役	人	4.4	4.6																																																																																																																
橋りょう特殊工	#	23.3	21.5																																																																																																																
普通作業員	#	17.3	17.8																																																																																																																
ラフテレンクレーン	日	0.6																																																																																																																	
運 転																																																																																																																			
諸 雑 費 率	%	15																																																																																																																	
ロス率	+0.06																																																																																																																		
名 称	単 位	縦 締	横 締																																																																																																																
		1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)	570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)																																																																																																																
橋りょう特殊工	人	3.0	2.1																																																																																																																
諸 雑 費 率	%	18	41																																																																																																																
名 称	単 位	縦 締	横 締																																																																																																																
		1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)	570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)																																																																																																																
橋りょう世話役	人	4.4 4.1	4.6 4.4																																																																																																																
橋りょう特殊工	#	23.3 21.8	21.5 20.7																																																																																																																
普通作業員	#	17.3 15.8	17.8 17.0																																																																																																																
ラフテレンクレーン	日	0.6																																																																																																																	
運 転																																																																																																																			
諸 雑 費 率	%	15 18																																																																																																																	
名 称	単 位	縦 締	横 締																																																																																																																
		1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)	570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)																																																																																																																
橋りょう特殊工	人	3.0	1.2																																																																																																																
諸 雑 費 率	%	18	41																																																																																																																
積算上の注意事項	IV-7-⑩-15		(控え頁) 2/10																																																																																																																

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																									
現 行		改 正																																																																																									
<p>11-7 PCケーブル緊張工 PCケーブル緊張工は、緊張側の定着装置の組立、取付け及びPCケーブルの緊張作業で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 11.8 PCケーブル緊張工歩掛 (10箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>縦締 (両引き)</th> <th>縦締 (片引き)</th> <th colspan="2">横 締</th> </tr> <tr> <th>1,900kN(195 t)型(12S12.4A) 2,200kN(225 t)型(12S12.7B)</th> <th>570kN(60 t)型 (1S21.8)</th> <th>750kN(80 t)型 (12S7B)</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td>人</td> <td>1.1</td> <td>1.5</td> <td>0.7</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>#</td> <td>6.6</td> <td>8.7</td> <td>3.1</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>#</td> <td>3.0</td> <td>5.3</td> <td>1.8</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td colspan="2">6</td> <td colspan="2">13</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、定着部型枠、グラウトホース、結束綱、ビニルテープ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>12. 足場及び防護工 足場及び防護工等は、次式とする。</p> $M = \left(\frac{S \cdot X}{m} + N \cdot y \right) \times A$ <p>M: 施工費 S: 損料係数 (表 12.1 ~ 表 12.4) X: 供用総月数 m: 1 工事での使用回数 N: 歩掛係数 (表 12.1 ~ 表 12.4) y: 橋りょう特殊工単価 (円/人) A: 施工量</p> <p>12-1 柱頭部足場工 柱頭部の足場についての歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 12.1 柱頭部足場工 (柱頭部橋面積 1㎡ 当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>桁 高</th> <th>S</th> <th>N</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱頭部桁高 6m未満</td> <td>728</td> <td>0.38</td> </tr> <tr> <td>柱頭部桁高 6m以上</td> <td>951</td> <td>0.71</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上記歩掛は、橋側足場を含む。</p> <p>12-2 橋側足場工 中央閉合部の支保工上に設置する足場で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 12.2 橋側足場工 (施工延長 1m 当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>S</th> <th>N</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>510</td> <td>0.17</td> </tr> </tbody> </table> <p>12-3 橋面手摺工 橋面手摺についての歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 12.3 橋面手摺工 (施工延長 1m 当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>S</th> <th>N</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>265</td> <td>0.054</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">IV-7-⑩-16</p>		名 称	単位	縦締 (両引き)	縦締 (片引き)	横 締		1,900kN(195 t)型(12S12.4A) 2,200kN(225 t)型(12S12.7B)	570kN(60 t)型 (1S21.8)	750kN(80 t)型 (12S7B)			橋りょう世話役	人	1.1	1.5	0.7	1.1	橋りょう特殊工	#	6.6	8.7	3.1	5.0	普通作業員	#	3.0	5.3	1.8	2.1	諸 雑 費 率	%	6		13		桁 高	S	N	柱頭部桁高 6m未満	728	0.38	柱頭部桁高 6m以上	951	0.71	S	N	510	0.17	S	N	265	0.054	<p>11-7 PCケーブル緊張工 PCケーブル緊張工は、緊張側の定着装置の組立、取付け及びPCケーブルの緊張作業で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 11.8 PCケーブル緊張工歩掛 (10箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>縦締 (両引き)</th> <th>縦締 (片引き)</th> <th colspan="2">横 締</th> </tr> <tr> <th>1,900kN(195 t)型(12S12.4A) 2,200kN(225 t)型(12S12.7B)</th> <th>570kN(60 t)型 (1S21.8)</th> <th>750kN(80 t)型 (12S7B)</th> <th>750kN(80 t)型 (12S7B)</th> <th>750kN(80 t)型 (12S7B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td>人</td> <td>1.1</td> <td>1.5</td> <td>0.7</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td>#</td> <td>6.6</td> <td>8.7</td> <td>3.1</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>#</td> <td>3.0</td> <td>5.3</td> <td>1.8</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td colspan="2">6</td> <td colspan="2">13</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、定着部型枠、グラウトホース、結束綱、ビニルテープ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		名 称	単位	縦締 (両引き)	縦締 (片引き)	横 締		1,900kN(195 t)型(12S12.4A) 2,200kN(225 t)型(12S12.7B)	570kN(60 t)型 (1S21.8)	750kN(80 t)型 (12S7B)	750kN(80 t)型 (12S7B)	750kN(80 t)型 (12S7B)	橋りょう世話役	人	1.1	1.5	0.7	1.1	橋りょう特殊工	#	6.6	8.7	3.1	5.0	普通作業員	#	3.0	5.3	1.8	2.1	諸 雑 費 率	%	6		13		備考
名 称	単位			縦締 (両引き)	縦締 (片引き)	横 締																																																																																					
		1,900kN(195 t)型(12S12.4A) 2,200kN(225 t)型(12S12.7B)	570kN(60 t)型 (1S21.8)	750kN(80 t)型 (12S7B)																																																																																							
橋りょう世話役	人	1.1	1.5	0.7	1.1																																																																																						
橋りょう特殊工	#	6.6	8.7	3.1	5.0																																																																																						
普通作業員	#	3.0	5.3	1.8	2.1																																																																																						
諸 雑 費 率	%	6		13																																																																																							
桁 高	S	N																																																																																									
柱頭部桁高 6m未満	728	0.38																																																																																									
柱頭部桁高 6m以上	951	0.71																																																																																									
S	N																																																																																										
510	0.17																																																																																										
S	N																																																																																										
265	0.054																																																																																										
名 称	単位	縦締 (両引き)	縦締 (片引き)	横 締																																																																																							
		1,900kN(195 t)型(12S12.4A) 2,200kN(225 t)型(12S12.7B)	570kN(60 t)型 (1S21.8)	750kN(80 t)型 (12S7B)	750kN(80 t)型 (12S7B)	750kN(80 t)型 (12S7B)																																																																																					
橋りょう世話役	人	1.1	1.5	0.7	1.1																																																																																						
橋りょう特殊工	#	6.6	8.7	3.1	5.0																																																																																						
普通作業員	#	3.0	5.3	1.8	2.1																																																																																						
諸 雑 費 率	%	6		13																																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 3/10																																																																																								

記載の変更
(歩掛改定に伴う)

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
現	行	改	正																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
<p>12-4 防護工 防護工歩掛については、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 12.4 防護工 (防護面積 1 m² 当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">N</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">55</td> <td style="text-align: center;">0.017</td> </tr> </table> <p>13. 機種 の 選 定 PC橋片持架設工に使用する機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 13.1 機種 の 選 定 (1 工事当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>供 用 日 数</th> <th>摘 要</th> <th>損 料 額 (円/供用日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">柱 頭 部 仮 支 承 工</td> <td>コンクリートパイプレータ (肩掛け(軽便))</td> <td></td> <td>台</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>コンクリート工を含む</td> <td rowspan="3">2,100</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブレーカ</td> <td></td> <td>#</td> <td>1</td> <td>D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機</td> <td></td> <td>#</td> <td>1</td> <td>D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C 鋼 棒 解 放 工</td> <td>緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td></td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>P C 工を含む</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業車据付・解体工</td> <td>片持架設用移動作業車</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>B</td> <td>改造費は別途 持込み台数分計上</td> <td>別途</td> </tr> <tr> <td>場所打桁架設工具</td> <td></td> <td>#</td> <td>1</td> <td>C</td> <td></td> <td>8,600</td> </tr> <tr> <td>作業車クライミング工</td> <td>チェーンブロック</td> <td>5 t 吊</td> <td>#</td> <td>1</td> <td>B</td> <td></td> <td>199</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 桁 製 作 用 離 器 具</td> <td>型 枠 工</td> <td>電気丸のこ</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>A</td> <td></td> <td rowspan="3">241</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電気ドリル</td> <td>#</td> <td>1</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">鉄 筋 工</td> <td>鉄筋切断機</td> <td>1.5kW</td> <td>#</td> <td>1</td> <td>A</td> <td></td> <td rowspan="5">3,580</td> </tr> <tr> <td>鉄筋曲げ機</td> <td>2.2kW</td> <td>#</td> <td>1</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋加工台</td> <td></td> <td>#</td> <td>1</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス切断機</td> <td></td> <td>#</td> <td>1</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気溶接機</td> <td></td> <td>#</td> <td>1</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コ ン ク リ ート 工</td> <td>コンクリートパイプレータ (肩掛け(軽便))</td> <td></td> <td>#</td> <td>6</td> <td>A</td> <td></td> <td rowspan="2">1,810</td> </tr> <tr> <td>高圧洗浄機</td> <td>3.7kW</td> <td>#</td> <td>1</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C 工</td> <td>緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td></td> <td>#</td> <td>(注)2</td> <td>A'</td> <td></td> <td>別途</td> </tr> <tr> <td></td> <td>グラウトミキサ・ポンプ・ウインチ</td> <td></td> <td>組</td> <td>(注)2</td> <td>A'</td> <td></td> <td>5,560</td> </tr> <tr> <td></td> <td>流量計, 空気圧縮機, 水櫃, 真空ポンプ</td> <td></td> <td>組</td> <td>(注)2</td> <td>A'</td> <td></td> <td>25,900</td> </tr> <tr> <td>全 体</td> <td>発動発電機</td> <td>37/48kVA</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>A</td> <td>発動発電機使用の場合</td> <td>2,660</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、PC 橋片持架設工における 1 工事当り (作業車 2 台同時施工時) に使用する機種・数量を示しており、各機種の供用日数は、「13-2」により算定し、計上するものとする。 商用電源を使用せず発動発電機を使用する場合は、発動発電機を計上する。 2. PC 工の数量については「13-1」による。</p>	S	N	55	0.017	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	供 用 日 数	摘 要	損 料 額 (円/供用日)	柱 頭 部 仮 支 承 工	コンクリートパイプレータ (肩掛け(軽便))		台	—	—	コンクリート工を含む	2,100	コンクリートブレーカ		#	1	D		空気圧縮機		#	1	D		P C 鋼 棒 解 放 工	緊張ジャッキ・ポンプ		#	—	—	P C 工を含む	—	作業車据付・解体工	片持架設用移動作業車		式	1	B	改造費は別途 持込み台数分計上	別途	場所打桁架設工具		#	1	C		8,600	作業車クライミング工	チェーンブロック	5 t 吊	#	1	B		199	主 桁 製 作 用 離 器 具	型 枠 工	電気丸のこ	台	1	A		241		電気ドリル	#	1	A		鉄 筋 工	鉄筋切断機	1.5kW	#	1	A		3,580	鉄筋曲げ機	2.2kW	#	1	A		鉄筋加工台		#	1	A		ガス切断機		#	1	A		電気溶接機		#	1	A		コ ン ク リ ート 工	コンクリートパイプレータ (肩掛け(軽便))		#	6	A		1,810	高圧洗浄機	3.7kW	#	1	A		P C 工	緊張ジャッキ・ポンプ		#	(注)2	A'		別途		グラウトミキサ・ポンプ・ウインチ		組	(注)2	A'		5,560		流量計, 空気圧縮機, 水櫃, 真空ポンプ		組	(注)2	A'		25,900	全 体	発動発電機	37/48kVA	台	1	A	発動発電機使用の場合	2,660	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>13. 機種 の 選 定 PC橋片持架設工に使用する機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 13.1 機種 の 選 定 (1 工事当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>供 用 日 数</th> <th>摘 要</th> <th>損 料 額 (円/供用日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">柱 頭 部 仮 支 承 工</td> <td>コンクリートパイプレータ (肩掛け(軽便))</td> <td></td> <td>台</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>コンクリート工を含む</td> <td rowspan="3">2,100</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブレーカ</td> <td></td> <td>#</td> <td>1</td> <td>D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機</td> <td></td> <td>#</td> <td>1</td> <td>D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C 鋼 棒 解 放 工</td> <td>緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td></td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>P C 工を含む</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業車据付・解体工</td> <td>片持架設用移動作業車</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>B</td> <td>改造費は別途 持込み台数分計上</td> <td>別途</td> </tr> <tr> <td>場所打桁架設工具</td> <td></td> <td>#</td> <td>1</td> <td>C</td> <td></td> <td>8,600</td> </tr> <tr> <td>作業車クライミング工</td> <td>チェーンブロック</td> <td>5 t 吊</td> <td>#</td> <td>1</td> <td>B</td> <td></td> <td>199</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 桁 製 作 用 離 器 具</td> <td>型 枠 工</td> <td>電気丸のこ</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>A</td> <td></td> <td rowspan="3">241</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電気ドリル</td> <td>#</td> <td>1</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">鉄 筋 工</td> <td>鉄筋切断機</td> <td>1.5kW</td> <td>#</td> <td>1</td> <td>A</td> <td></td> <td rowspan="5">3,580</td> </tr> <tr> <td>鉄筋曲げ機</td> <td>2.2kW</td> <td>#</td> <td>1</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋加工台</td> <td></td> <td>#</td> <td>1</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス切断機</td> <td></td> <td>#</td> <td>1</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気溶接機</td> <td></td> <td>#</td> <td>1</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コ ン ク リ ート 工</td> <td>コンクリートパイプレータ (肩掛け(軽便))</td> <td></td> <td>#</td> <td>6</td> <td>A</td> <td></td> <td rowspan="2">1,810</td> </tr> <tr> <td>高圧洗浄機</td> <td>3.7kW</td> <td>#</td> <td>1</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C 工</td> <td>緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td></td> <td>#</td> <td>(注)2</td> <td>A'</td> <td></td> <td>別途</td> </tr> <tr> <td></td> <td>グラウトミキサ・ポンプ・ウインチ</td> <td></td> <td>組</td> <td>(注)2</td> <td>A'</td> <td></td> <td>5,560</td> </tr> <tr> <td></td> <td>流量計, 空気圧縮機, 水櫃, 真空ポンプ</td> <td></td> <td>組</td> <td>(注)2</td> <td>A'</td> <td></td> <td>25,900</td> </tr> <tr> <td>全 体</td> <td>発動発電機</td> <td>37/48kVA</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>A</td> <td>発動発電機使用の場合</td> <td>2,660</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、PC 橋片持架設工における 1 工事当り (作業車 2 台同時施工時) に使用する機種・数量を示しており、各機種の供用日数は、「13-2」により算定し、計上するものとする。 商用電源を使用せず発動発電機を使用する場合は、発動発電機を計上する。 2. PC 工の数量については「13-1」による。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	供 用 日 数	摘 要	損 料 額 (円/供用日)	柱 頭 部 仮 支 承 工	コンクリートパイプレータ (肩掛け(軽便))		台	—	—	コンクリート工を含む	2,100	コンクリートブレーカ		#	1	D		空気圧縮機		#	1	D		P C 鋼 棒 解 放 工	緊張ジャッキ・ポンプ		#	—	—	P C 工を含む	—	作業車据付・解体工	片持架設用移動作業車		式	1	B	改造費は別途 持込み台数分計上	別途	場所打桁架設工具		#	1	C		8,600	作業車クライミング工	チェーンブロック	5 t 吊	#	1	B		199	主 桁 製 作 用 離 器 具	型 枠 工	電気丸のこ	台	1	A		241		電気ドリル	#	1	A		鉄 筋 工	鉄筋切断機	1.5kW	#	1	A		3,580	鉄筋曲げ機	2.2kW	#	1	A		鉄筋加工台		#	1	A		ガス切断機		#	1	A		電気溶接機		#	1	A		コ ン ク リ ート 工	コンクリートパイプレータ (肩掛け(軽便))		#	6	A		1,810	高圧洗浄機	3.7kW	#	1	A		P C 工	緊張ジャッキ・ポンプ		#	(注)2	A'		別途		グラウトミキサ・ポンプ・ウインチ		組	(注)2	A'		5,560		流量計, 空気圧縮機, 水櫃, 真空ポンプ		組	(注)2	A'		25,900	全 体	発動発電機	37/48kVA	台	1	A	発動発電機使用の場合	2,660	<p style="text-align: center;">記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>
S	N																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
55	0.017																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	供 用 日 数	摘 要	損 料 額 (円/供用日)																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
柱 頭 部 仮 支 承 工	コンクリートパイプレータ (肩掛け(軽便))		台	—	—	コンクリート工を含む	2,100																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	コンクリートブレーカ		#	1	D																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	空気圧縮機		#	1	D																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
P C 鋼 棒 解 放 工	緊張ジャッキ・ポンプ		#	—	—	P C 工を含む	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
作業車据付・解体工	片持架設用移動作業車		式	1	B	改造費は別途 持込み台数分計上	別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	場所打桁架設工具		#	1	C		8,600																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
作業車クライミング工	チェーンブロック	5 t 吊	#	1	B		199																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
主 桁 製 作 用 離 器 具	型 枠 工	電気丸のこ	台	1	A		241																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		電気ドリル	#	1	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	鉄 筋 工	鉄筋切断機	1.5kW	#	1	A			3,580																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
鉄筋曲げ機		2.2kW	#	1	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
鉄筋加工台			#	1	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
ガス切断機			#	1	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
電気溶接機			#	1	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
コ ン ク リ ート 工	コンクリートパイプレータ (肩掛け(軽便))		#	6	A		1,810																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	高圧洗浄機	3.7kW	#	1	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
P C 工	緊張ジャッキ・ポンプ		#	(注)2	A'		別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	グラウトミキサ・ポンプ・ウインチ		組	(注)2	A'		5,560																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	流量計, 空気圧縮機, 水櫃, 真空ポンプ		組	(注)2	A'		25,900																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
全 体	発動発電機	37/48kVA	台	1	A	発動発電機使用の場合	2,660																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	供 用 日 数	摘 要	損 料 額 (円/供用日)																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
柱 頭 部 仮 支 承 工	コンクリートパイプレータ (肩掛け(軽便))		台	—	—	コンクリート工を含む	2,100																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	コンクリートブレーカ		#	1	D																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	空気圧縮機		#	1	D																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
P C 鋼 棒 解 放 工	緊張ジャッキ・ポンプ		#	—	—	P C 工を含む	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
作業車据付・解体工	片持架設用移動作業車		式	1	B	改造費は別途 持込み台数分計上	別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	場所打桁架設工具		#	1	C		8,600																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
作業車クライミング工	チェーンブロック	5 t 吊	#	1	B		199																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
主 桁 製 作 用 離 器 具	型 枠 工	電気丸のこ	台	1	A		241																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		電気ドリル	#	1	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	鉄 筋 工	鉄筋切断機	1.5kW	#	1	A			3,580																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
鉄筋曲げ機		2.2kW	#	1	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
鉄筋加工台			#	1	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
ガス切断機			#	1	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
電気溶接機			#	1	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
コ ン ク リ ート 工	コンクリートパイプレータ (肩掛け(軽便))		#	6	A		1,810																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	高圧洗浄機	3.7kW	#	1	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
P C 工	緊張ジャッキ・ポンプ		#	(注)2	A'		別途																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	グラウトミキサ・ポンプ・ウインチ		組	(注)2	A'		5,560																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	流量計, 空気圧縮機, 水櫃, 真空ポンプ		組	(注)2	A'		25,900																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
全 体	発動発電機	37/48kVA	台	1	A	発動発電機使用の場合	2,660																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
積算上の注意事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	(控え頁) 4/10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

改正理由	一部改正		改正		備考																																																																																																																														
	現	行	改	正																																																																																																																															
13-1 PC工における緊張ジャッキ、緊張ポンプ、グラウトミキサ、グラウトポンプ、ウインチの台数は下表を標準とする。	<p>1) 使用するケーブルシステムがバーシステムのみの場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>同時に施工する作業車の台数</th> <th>使用するPC鋼材の種類</th> <th>ジャッキの種類</th> <th>ジャッキポンプの台数</th> <th>グラウトミキサ・ポンプ・ウインチの組数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2</td> <td>φ 26(1B26A, 1B26B) のみ</td> <td>50 t</td> <td>4</td> <td rowspan="4">1</td> </tr> <tr> <td>φ 32(1B32A, 1B32B) のみ</td> <td>70 t</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用</td> <td>50 t</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>70 t</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">4</td> <td>φ 26(1B26A, 1B26B) のみ</td> <td>50 t</td> <td>6</td> <td rowspan="4">2</td> </tr> <tr> <td>φ 32(1B32A, 1B32B) のみ</td> <td>70 t</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用</td> <td>50 t</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>70 t</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) グラウトポンプ・ミキサ・ウインチ1組当りの内訳は、ポンプ2台とミキサ1台、ウインチ1台である。</p> <p>2) 各種ケーブルシステム混用の場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">同時に施工する作業車の台数</th> <th rowspan="2">使用するPC鋼材の種類数</th> <th colspan="2">ジャッキ・ポンプの台数</th> <th rowspan="2">グラウトミキサ・ポンプ・ウインチの組数</th> </tr> <tr> <th>縦</th> <th>横</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2</td> <td rowspan="2">2</td> <td>縦</td> <td>2</td> <td rowspan="4">1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td>縦</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">4</td> <td rowspan="2">2</td> <td>縦</td> <td>4</td> <td rowspan="4">2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td>縦</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) グラウトポンプ・ミキサ・ウインチ1組当りの内訳は、ポンプ2台とミキサ1台、ウインチ1台である。</p>	同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類	ジャッキの種類	ジャッキポンプの台数	グラウトミキサ・ポンプ・ウインチの組数	2	φ 26(1B26A, 1B26B) のみ	50 t	4	1	φ 32(1B32A, 1B32B) のみ	70 t	4	φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	50 t	2		70 t	3	4	φ 26(1B26A, 1B26B) のみ	50 t	6	2	φ 32(1B32A, 1B32B) のみ	70 t	6	φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	50 t	3		70 t	4	同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類数	ジャッキ・ポンプの台数		グラウトミキサ・ポンプ・ウインチの組数	縦	横	2	2	縦	2	1	横	1	3	縦	2	横	1	4	2	縦	4	2	横	2	3	縦	4	横	2	<p>13-1 PC工における緊張ジャッキ、緊張ポンプ、グラウトミキサ、グラウトポンプ、ウインチ、グラウト流量計、空気圧縮機、水槽、真空ポンプの台数は下表を標準とする。</p> <p>1) 使用するケーブルシステムがバーシステムのみの場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>同時に施工する作業車の台数</th> <th>使用するPC鋼材の種類</th> <th>ジャッキの種類</th> <th>ジャッキポンプの台数</th> <th>グラウトミキサ・ポンプ・ウインチ・グラウト流量計・空気圧縮機・水槽・真空ポンプの組数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2</td> <td>φ 26(1B26A, 1B26B) のみ</td> <td>50 t</td> <td>4</td> <td rowspan="4">1</td> </tr> <tr> <td>φ 32(1B32A, 1B32B) のみ</td> <td>70 t</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用</td> <td>50 t</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>70 t</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">4</td> <td>φ 26(1B26A, 1B26B) のみ</td> <td>50 t</td> <td>6</td> <td rowspan="4">2</td> </tr> <tr> <td>φ 32(1B32A, 1B32B) のみ</td> <td>70 t</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用</td> <td>50 t</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>70 t</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) グラウトポンプ・ミキサ・ウインチ等1組当り内訳は、ポンプ2台と、ミキサ1台、ウインチ1台、グラウト流量計2台、空気圧縮機1台、水槽1台、真空ポンプ2台各1台である。</p> <p>2) 各種ケーブルシステム混用の場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">同時に施工する作業車の台数</th> <th rowspan="2">使用するPC鋼材の種類数</th> <th colspan="2">ジャッキ・ポンプの台数</th> <th rowspan="2">グラウトミキサ・ポンプ・ウインチ・グラウト流量計・空気圧縮機・水槽・真空ポンプの組数</th> </tr> <tr> <th>縦</th> <th>横</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2</td> <td rowspan="2">2</td> <td>縦</td> <td>2</td> <td rowspan="4">1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td>縦</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">4</td> <td rowspan="2">2</td> <td>縦</td> <td>4</td> <td rowspan="4">2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td>縦</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) グラウトポンプ・ミキサ・ウインチ等1組当り内訳は、ポンプ2台と、ミキサ1台、ウインチ1台、グラウト流量計2台、空気圧縮機1台、水槽1台、真空ポンプ2台各1台である。</p>	同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類	ジャッキの種類	ジャッキポンプの台数	グラウトミキサ・ポンプ・ウインチ・ グラウト流量計・空気圧縮機・水槽・真空ポンプ の組数	2	φ 26(1B26A, 1B26B) のみ	50 t	4	1	φ 32(1B32A, 1B32B) のみ	70 t	4	φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	50 t	2		70 t	3	4	φ 26(1B26A, 1B26B) のみ	50 t	6	2	φ 32(1B32A, 1B32B) のみ	70 t	6	φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	50 t	3		70 t	4	同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類数	ジャッキ・ポンプの台数		グラウトミキサ・ポンプ・ウインチ・ グラウト流量計・空気圧縮機・水槽・真空ポンプ の組数	縦	横	2	2	縦	2	1	横	1	3	縦	2	横	1	4	2	縦	4	2	横	2	3	縦	4	横	2	記載の変更 (歩掛改定に伴う)
同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類	ジャッキの種類	ジャッキポンプの台数	グラウトミキサ・ポンプ・ウインチの組数																																																																																																																															
2	φ 26(1B26A, 1B26B) のみ	50 t	4	1																																																																																																																															
	φ 32(1B32A, 1B32B) のみ	70 t	4																																																																																																																																
	φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	50 t	2																																																																																																																																
		70 t	3																																																																																																																																
4	φ 26(1B26A, 1B26B) のみ	50 t	6	2																																																																																																																															
	φ 32(1B32A, 1B32B) のみ	70 t	6																																																																																																																																
	φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	50 t	3																																																																																																																																
		70 t	4																																																																																																																																
同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類数	ジャッキ・ポンプの台数		グラウトミキサ・ポンプ・ウインチの組数																																																																																																																															
		縦	横																																																																																																																																
2	2	縦	2	1																																																																																																																															
		横	1																																																																																																																																
	3	縦	2																																																																																																																																
		横	1																																																																																																																																
4	2	縦	4	2																																																																																																																															
		横	2																																																																																																																																
	3	縦	4																																																																																																																																
		横	2																																																																																																																																
同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類	ジャッキの種類	ジャッキポンプの台数	グラウトミキサ・ポンプ・ウインチ・ グラウト流量計・空気圧縮機・水槽・真空ポンプ の組数																																																																																																																															
2	φ 26(1B26A, 1B26B) のみ	50 t	4	1																																																																																																																															
	φ 32(1B32A, 1B32B) のみ	70 t	4																																																																																																																																
	φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	50 t	2																																																																																																																																
		70 t	3																																																																																																																																
4	φ 26(1B26A, 1B26B) のみ	50 t	6	2																																																																																																																															
	φ 32(1B32A, 1B32B) のみ	70 t	6																																																																																																																																
	φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	50 t	3																																																																																																																																
		70 t	4																																																																																																																																
同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類数	ジャッキ・ポンプの台数		グラウトミキサ・ポンプ・ウインチ・ グラウト流量計・空気圧縮機・水槽・真空ポンプ の組数																																																																																																																															
		縦	横																																																																																																																																
2	2	縦	2	1																																																																																																																															
		横	1																																																																																																																																
	3	縦	2																																																																																																																																
		横	1																																																																																																																																
4	2	縦	4	2																																																																																																																															
		横	2																																																																																																																																
	3	縦	4																																																																																																																																
		横	2																																																																																																																																
積算上の注意事項					(控え頁) 5/10																																																																																																																														

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行	備考																													
現	行	改 正	備 考																													
	<p>13-2 供用日数</p> <p>A: 主桁製作用雜器具 供用日数=最初柱頭部施工日数+$\frac{B}{\text{片持架設用移動作業車台数}}$+最終側径間部施工日数+最終中央閉合部施工日数</p> <p>A': PC工用機器 供用日数=最初柱頭部施工日数(23日)+$\frac{B}{\text{片持架設用移動作業車台数}}$+最終側径間部施工日数+最終中央閉合部施工日数</p> <p>B: 片持架設用移動作業車延供用日数=52×P+1ブロック当り施工日数×n+S (必要な場合計上) P: 橋脚数 n: 総施工ブロック数 S: 片持架設用移動作業車引戻日数=n×0.18 (小数点以下切上げ)</p> <p>計算例 A': PC工用機器 供用日数=23日+263日/2台+54日+37日 =245.5日 ≒246日</p> <p>B: 片持架設用移動作業車延供用日数 供用日数=52×1橋脚+13日×16ブロック+(16ブロック×0.18) =262.9日 ≒263日</p> <p>C: 場所打桁架設工具供用日数=片持架設用移動作業車据付・解体日数+1×移動回数 D: 仮支承撤去日数</p> <p>また、各工程標準施工日数は、下表のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業種別</th> <th colspan="2">施工日数</th> </tr> <tr> <th>作業車2台同時施工時</th> <th>作業車4台同時施工時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱頭部施工</td> <td>101 (23)</td> <td>202 (23)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">片持架設用移動作業車据付・解体</td> <td>据付</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>解体</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>1ブロック当り施工</td> <td colspan="2">13</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">側径間部施工</td> <td>L ≤ 10</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>10 < L ≤ 20</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>20 < L ≤ 30</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>中央閉合部施工</td> <td colspan="2">37</td> </tr> <tr> <td>仮支承撤去</td> <td colspan="2">12</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. PC工用機器(緊張ジャッキ・ポンプ, グラウトミキサ, グラウトポンプ, ウインチ)について、柱頭部工及び側径間部の施工日数は()内の日数とする。 2. 柱頭部の施工延長は12mを標準とする。</p>	作業種別	施工日数		作業車2台同時施工時	作業車4台同時施工時	柱頭部施工	101 (23)	202 (23)	片持架設用移動作業車据付・解体	据付	19	解体	7	1ブロック当り施工	13		側径間部施工	L ≤ 10	54	10 < L ≤ 20	72	20 < L ≤ 30	90	中央閉合部施工	37		仮支承撤去	12		<p>現行どおり</p>	
作業種別	施工日数																															
	作業車2台同時施工時	作業車4台同時施工時																														
柱頭部施工	101 (23)	202 (23)																														
片持架設用移動作業車据付・解体	据付	19																														
	解体	7																														
1ブロック当り施工	13																															
側径間部施工	L ≤ 10	54																														
	10 < L ≤ 20	72																														
	20 < L ≤ 30	90																														
中央閉合部施工	37																															
仮支承撤去	12																															
13-3 諸雑費	<p>諸雑費は、電力に関する経費であり、機械器具損料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 なお、機械器具損料に片持架設用移動作業車改造費は含まない。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">諸雑费率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商用電源を使用する場合</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>発動発電機を使用する場合</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">IV-7-⑩-19</p>	諸雑费率 (%)		商用電源を使用する場合	1	発動発電機を使用する場合	4	<p>13-3 諸雑費</p> <p>諸雑費は、電力に関する経費であり、機械器具損料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 なお、機械器具損料に片持架設用移動作業車改造費は含まない。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">諸雑费率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商用電源を使用する場合</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>発動発電機を使用する場合</td> <td>→ 2</td> </tr> </tbody> </table>	諸雑费率 (%)		商用電源を使用する場合	1	発動発電機を使用する場合	→ 2	<p>記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>																	
諸雑费率 (%)																																
商用電源を使用する場合	1																															
発動発電機を使用する場合	4																															
諸雑费率 (%)																																
商用電源を使用する場合	1																															
発動発電機を使用する場合	→ 2																															
積算上の注意事項			(控え頁) 6/10																													

改正理由	一部改正	改正 <u>現 行</u>																																																																																																																																																							
現 行		改 正																																																																																																																																																							
<p>(30) 機械器具損料 1工事当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">施工歩掛コード</th> <th>WB472390</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートブレーカ</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>表 13.1</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>片持架設用移動作業車</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>片持架設用移動作業車 改 造 費</td> <td></td> <td>台</td> <td>持込み台数</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>場所打桁架設工具</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>チェーンブロック</td> <td>5t吊</td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>主桁製作用雑器具</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>グラウトミキサ・ポン プ・ウインチ</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 37/45kVA</td> <td>"</td> <td></td> <td>" 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>13-3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(31) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンクリートポンプ車</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力 90 ~ 110 m³/h</td> <td rowspan="2">機-3</td> <td>運転労務数量→ 0.14 機械損料 1→コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力 90 ~ 110 m³/h</td> </tr> <tr> <td>トラック架装・配管式 圧送能力 90 ~ 100 m³/h</td> <td>トラック架装・配管式 圧送能力 90 ~ 100 m³/h 機械損料 2→コンクリート圧送管 (径 125 mm) 単位→m・h 数量→L×1 h</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) Lはコンクリートポンプ車から作業範囲 100 mを超えた部分の圧送管延長とする。</p>				施工歩掛コード		WB472390	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	コンクリートブレーカ		日		表 13.1	空 気 圧 縮 機		"		"	片持架設用移動作業車		"		"	片持架設用移動作業車 改 造 費		台	持込み台数	"	場所打桁架設工具		日		"	チェーンブロック	5t吊	"		"	主桁製作用雑器具		"		"	緊張ジャッキ・ポンプ		"		"	グラウトミキサ・ポン プ・ウインチ		"		"	発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) 37/45kVA	"		" 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	13-3	計					名 称	規 格	適用単価表	摘 要	コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力 90 ~ 110 m ³ /h	機-3	運転労務数量→ 0.14 機械損料 1→コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力 90 ~ 110 m ³ /h	トラック架装・配管式 圧送能力 90 ~ 100 m ³ /h	トラック架装・配管式 圧送能力 90 ~ 100 m ³ /h 機械損料 2→コンクリート圧送管 (径 125 mm) 単位→m・h 数量→L×1 h	<p>(30) 機械器具損料 1工事当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">施工歩掛コード</th> <th>WB472390</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートブレーカ</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>表 13.1</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>片持架設用移動作業車</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>片持架設用移動作業車 改 造 費</td> <td></td> <td>台</td> <td>持込み台数</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>場所打桁架設工具</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>チェーンブロック</td> <td>5t吊</td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>主桁製作用雑器具</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>グラウトミキサ・ポン プ・ウインチ ト流量計・空気圧縮 機・水補・真空ポン プ</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 37/45kVA</td> <td>"</td> <td></td> <td>" 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>13-3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p>			施工歩掛コード		WB472390	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	コンクリートブレーカ		日		表 13.1	空 気 圧 縮 機		"		"	片持架設用移動作業車		"		"	片持架設用移動作業車 改 造 費		台	持込み台数	"	場所打桁架設工具		日		"	チェーンブロック	5t吊	"		"	主桁製作用雑器具		"		"	緊張ジャッキ・ポンプ		"		"	グラウトミキサ・ポン プ・ウインチ ト流量計・空気圧縮 機・水補・真空ポン プ		"		"	発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) 37/45kVA	"		" 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	13-3	計					記載の変更 (歩掛改定に伴う)
		施工歩掛コード		WB472390																																																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																					
コンクリートブレーカ		日		表 13.1																																																																																																																																																					
空 気 圧 縮 機		"		"																																																																																																																																																					
片持架設用移動作業車		"		"																																																																																																																																																					
片持架設用移動作業車 改 造 費		台	持込み台数	"																																																																																																																																																					
場所打桁架設工具		日		"																																																																																																																																																					
チェーンブロック	5t吊	"		"																																																																																																																																																					
主桁製作用雑器具		"		"																																																																																																																																																					
緊張ジャッキ・ポンプ		"		"																																																																																																																																																					
グラウトミキサ・ポン プ・ウインチ		"		"																																																																																																																																																					
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) 37/45kVA	"		" 必要に応じて計上																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	13-3																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																									
名 称	規 格	適用単価表	摘 要																																																																																																																																																						
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力 90 ~ 110 m ³ /h	機-3	運転労務数量→ 0.14 機械損料 1→コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力 90 ~ 110 m ³ /h																																																																																																																																																						
	トラック架装・配管式 圧送能力 90 ~ 100 m ³ /h		トラック架装・配管式 圧送能力 90 ~ 100 m ³ /h 機械損料 2→コンクリート圧送管 (径 125 mm) 単位→m・h 数量→L×1 h																																																																																																																																																						
		施工歩掛コード		WB472390																																																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																					
コンクリートブレーカ		日		表 13.1																																																																																																																																																					
空 気 圧 縮 機		"		"																																																																																																																																																					
片持架設用移動作業車		"		"																																																																																																																																																					
片持架設用移動作業車 改 造 費		台	持込み台数	"																																																																																																																																																					
場所打桁架設工具		日		"																																																																																																																																																					
チェーンブロック	5t吊	"		"																																																																																																																																																					
主桁製作用雑器具		"		"																																																																																																																																																					
緊張ジャッキ・ポンプ		"		"																																																																																																																																																					
グラウトミキサ・ポン プ・ウインチ ト流量計・空気圧縮 機・水補・真空ポン プ		"		"																																																																																																																																																					
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) 37/45kVA	"		" 必要に応じて計上																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	13-3																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 7/10																																																																																																																																																						

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																									
	<p>現 行</p> <p>(18) PC鋼棒継手工</p> <table border="1"> <tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB472290</td><td>施工単位</td><td>箇所</td></tr> <tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr> <tr><td></td><td>J 1</td><td colspan="2">J 2</td></tr> <tr><td>各 種</td><td>継手種別 ①普通継手 ②G継手</td><td colspan="2">鋼棒径別種別 (表 15.11)</td></tr> </table> <p>(注) 本コードはφ 32 の鋼棒を使用する場合について適用する。</p> <p>(19) PC鋼棒定着工</p> <table border="1"> <tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB472300</td><td>施工単位</td><td>箇所</td></tr> <tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr> <tr><td></td><td colspan="3">J 1</td></tr> <tr><td>各 種</td><td colspan="3">鋼棒径別種別 (表 15.11)</td></tr> </table> <p>(20) PC鋼棒緊張工</p> <table border="1"> <tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB472310</td><td>施工単位</td><td>箇所</td></tr> <tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr> <tr><td></td><td colspan="3">J 1</td></tr> <tr><td>各 種</td><td colspan="3">鋼棒径別種別 (表 15.11)</td></tr> </table> <p>(21) PCケーブル工</p> <table border="1"> <tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB472320</td><td>施工単位</td><td>t</td></tr> <tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr> <tr><td></td><td>J 1</td><td colspan="2">J 2</td></tr> <tr><td>各 種</td><td>緊張ジャッキ 規格 (表 15.12)</td><td colspan="2">ラフテレーンクレーン 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外 (実数入力)</td></tr> </table> <p>(注) 1. 材料ロスが含まれる。 2. ラフテレーンクレーンの賃料補正(夜間作業)を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。</p> <p>表 15.12 緊張ジャッキ規格</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>形 式</th><th>入 力 番 号</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2">縦 締</td><td>1,900kN(195 t)</td><td>①</td></tr> <tr><td>2,200kN(225 t)</td><td>②</td></tr> <tr><td rowspan="2">横 締</td><td>570kN(60 t)</td><td>③</td></tr> <tr><td>750kN(80 t)</td><td>④</td></tr> </tbody> </table> <p>IV-7-⑩-35</p>	施工歩掛コード	WB472290	施工単位	箇所	施工区分	入 力 条 件				J 1	J 2		各 種	継手種別 ①普通継手 ②G継手	鋼棒径別種別 (表 15.11)		施工歩掛コード	WB472300	施工単位	箇所	施工区分	入 力 条 件				J 1			各 種	鋼棒径別種別 (表 15.11)			施工歩掛コード	WB472310	施工単位	箇所	施工区分	入 力 条 件				J 1			各 種	鋼棒径別種別 (表 15.11)			施工歩掛コード	WB472320	施工単位	t	施工区分	入 力 条 件				J 1	J 2		各 種	緊張ジャッキ 規格 (表 15.12)	ラフテレーンクレーン 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外 (実数入力)			形 式	入 力 番 号	縦 締	1,900kN(195 t)	①	2,200kN(225 t)	②	横 締	570kN(60 t)	③	750kN(80 t)	④	<p>改 正</p> <p>現 行</p> <p>改 正</p> <p>現 行</p> <p>備 考</p> <p>現行どおり</p> <p>表 15.12 緊張ジャッキ規格</p> <table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>形 式</th><th>入 力 番 号</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2">縦 締</td><td>1,900kN(195 t)</td><td>①</td></tr> <tr><td>2,200kN(225 t)</td><td>②</td></tr> <tr><td rowspan="2">横 締</td><td>570kN(60 t)</td><td>③</td></tr> <tr><td>750kN(80 t)</td><td>④</td></tr> </tbody> </table> <p>記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>		形 式	入 力 番 号	縦 締	1,900kN(195 t)	①	2,200kN(225 t)	②	横 締	570kN(60 t)	③	750kN(80 t)	④
施工歩掛コード	WB472290	施工単位	箇所																																																																																									
施工区分	入 力 条 件																																																																																											
	J 1	J 2																																																																																										
各 種	継手種別 ①普通継手 ②G継手	鋼棒径別種別 (表 15.11)																																																																																										
施工歩掛コード	WB472300	施工単位	箇所																																																																																									
施工区分	入 力 条 件																																																																																											
	J 1																																																																																											
各 種	鋼棒径別種別 (表 15.11)																																																																																											
施工歩掛コード	WB472310	施工単位	箇所																																																																																									
施工区分	入 力 条 件																																																																																											
	J 1																																																																																											
各 種	鋼棒径別種別 (表 15.11)																																																																																											
施工歩掛コード	WB472320	施工単位	t																																																																																									
施工区分	入 力 条 件																																																																																											
	J 1	J 2																																																																																										
各 種	緊張ジャッキ 規格 (表 15.12)	ラフテレーンクレーン 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																										
	形 式	入 力 番 号																																																																																										
縦 締	1,900kN(195 t)	①																																																																																										
	2,200kN(225 t)	②																																																																																										
横 締	570kN(60 t)	③																																																																																										
	750kN(80 t)	④																																																																																										
	形 式	入 力 番 号																																																																																										
縦 締	1,900kN(195 t)	①																																																																																										
	2,200kN(225 t)	②																																																																																										
横 締	570kN(60 t)	③																																																																																										
	750kN(80 t)	④																																																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 8/10																																																																																									

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行																																																																																									
現	行	改 正	備 考																																																																																								
<p>(22) PCケーブル定着工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB472330</td> <td>施工単位</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>緊張ジャッキ規格 (表 15.12)</td> <td colspan="2">定着具種別 ①固定側(緊張側用) ②固定側(固定側用) ③後付用 ④埋込用</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で①、②を選択した場合は、J 2条件の③、④は選択出来ない。 2. J 1条件で④を選択した場合は、J 2条件の入力の必要はない。 3. J 2条件で①を選択した場合は、PC鋼材定着装置(緊張側用)単価(Y-1323001) [円/組]、②を選択した場合は、PC鋼材定着装置(固定側用)単価(Y-1324001) [円/組]を単価登録すること。</p> <p>(23) PCケーブル緊張工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB472340</td> <td>施工単位</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>緊張方向・ジャッキ規格 (表 15.13)</td> <td colspan="2">定着具種別 ①後付用 ②埋込用</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で①～④を選択した場合、J 2条件の選択の必要はない。 2. J 1条件で①～④を選択した場合は、PC鋼材定着装置(緊張側用)単価(Y-1323001) [円/組]を単価登録すること。</p> <p style="text-align: center;">表 15.13 緊張方向・ジャッキ規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形 式</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">縦 縮 (両 引 き)</td> <td>1,900kN(195 t)型 ①</td> </tr> <tr> <td>2,200kN(225 t)型 ②</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">縦 縮 (片 引 き)</td> <td>1,900kN(195 t)型 ③</td> </tr> <tr> <td>2,200kN(225 t)型 ④</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">横 縮</td> <td>570kN(60 t)型 ⑤</td> </tr> <tr> <td>750kN(80 t)型 ⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>(24) 柱頭部足場工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB472350</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> </tr> <tr> <td>桁 高 (表 15.14)</td> <td>供用総月数 (実数入力)</td> <td>使用回数 (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 供用総月数は小数第2位を四捨五入し、第1位とする。</p> <p style="text-align: center;">表 15.14 柱頭部足場工</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>柱頭部桁高</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱頭部桁高 6 m未満</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>柱頭部桁高 6 m以上</td> <td>②</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">IV-7-⑩-36</p>		施工歩掛コード	WB472330	施工単位	箇所	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		緊張ジャッキ規格 (表 15.12)	定着具種別 ①固定側(緊張側用) ②固定側(固定側用) ③後付用 ④埋込用		施工歩掛コード	WB472340	施工単位	箇所	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		緊張方向・ジャッキ規格 (表 15.13)	定着具種別 ①後付用 ②埋込用		形 式	入力番号	縦 縮 (両 引 き)	1,900kN(195 t)型 ①	2,200kN(225 t)型 ②	縦 縮 (片 引 き)	1,900kN(195 t)型 ③	2,200kN(225 t)型 ④	横 縮	570kN(60 t)型 ⑤	750kN(80 t)型 ⑥	施工歩掛コード	WB472350	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	桁 高 (表 15.14)	供用総月数 (実数入力)	使用回数 (実数入力)	柱頭部桁高	入力番号	柱頭部桁高 6 m未満	①	柱頭部桁高 6 m以上	②	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. J 1条件で①、②を選択した場合は、J 2条件の③、④は選択出来ない。 2. J 1条件で④を選択した場合は、J 2条件の入力の必要はない。 3. J 2条件で①を選択した場合は、PC鋼材定着装置(緊張側用)単価(Y-1323001) [円/組]、②を選択した場合は、PC鋼材定着装置(固定側用)単価(Y-1324001) [円/組]を単価登録すること。</p> <p>(23) PCケーブル緊張工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB472340</td> <td>施工単位</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>緊張方向・ジャッキ規格 (表 15.13)</td> <td colspan="2">定着具種別 ①後付用 ②埋込用</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で①～④を選択した場合、J 2条件の選択の必要はない。 2. J 1条件で①～④を選択した場合は、PC鋼材定着装置(緊張側用)単価(Y-1323001) [円/組]を単価登録すること。</p> <p style="text-align: center;">表 15.13 緊張方向・ジャッキ規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形 式</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">縦 縮 (両 引 き)</td> <td>1,900kN(195 t)型 ①</td> </tr> <tr> <td>2,200kN(225 t)型 ②</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">縦 縮 (片 引 き)</td> <td>1,900kN(195 t)型 ③</td> </tr> <tr> <td>2,200kN(225 t)型 ④</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">横 縮</td> <td>570kN(60 t)型 ⑤</td> </tr> <tr> <td>750kN(80 t)型 ⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	施工歩掛コード	WB472340	施工単位	箇所	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		緊張方向・ジャッキ規格 (表 15.13)	定着具種別 ①後付用 ②埋込用		形 式	入力番号	縦 縮 (両 引 き)	1,900kN(195 t)型 ①	2,200kN(225 t)型 ②	縦 縮 (片 引 き)	1,900kN(195 t)型 ③	2,200kN(225 t)型 ④	横 縮	570kN(60 t)型 ⑤	750kN(80 t)型 ⑥	<p style="text-align: center;">記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>
施工歩掛コード	WB472330	施工単位	箇所																																																																																								
施工区分	入 力 条 件																																																																																										
各 種	J 1	J 2																																																																																									
	緊張ジャッキ規格 (表 15.12)	定着具種別 ①固定側(緊張側用) ②固定側(固定側用) ③後付用 ④埋込用																																																																																									
施工歩掛コード	WB472340	施工単位	箇所																																																																																								
施工区分	入 力 条 件																																																																																										
各 種	J 1	J 2																																																																																									
	緊張方向・ジャッキ規格 (表 15.13)	定着具種別 ①後付用 ②埋込用																																																																																									
形 式	入力番号																																																																																										
縦 縮 (両 引 き)	1,900kN(195 t)型 ①																																																																																										
	2,200kN(225 t)型 ②																																																																																										
縦 縮 (片 引 き)	1,900kN(195 t)型 ③																																																																																										
	2,200kN(225 t)型 ④																																																																																										
横 縮	570kN(60 t)型 ⑤																																																																																										
	750kN(80 t)型 ⑥																																																																																										
施工歩掛コード	WB472350	施工単位	m																																																																																								
施工区分	入 力 条 件																																																																																										
各 種	J 1	J 2	J 3																																																																																								
	桁 高 (表 15.14)	供用総月数 (実数入力)	使用回数 (実数入力)																																																																																								
柱頭部桁高	入力番号																																																																																										
柱頭部桁高 6 m未満	①																																																																																										
柱頭部桁高 6 m以上	②																																																																																										
施工歩掛コード	WB472340	施工単位	箇所																																																																																								
施工区分	入 力 条 件																																																																																										
各 種	J 1	J 2																																																																																									
	緊張方向・ジャッキ規格 (表 15.13)	定着具種別 ①後付用 ②埋込用																																																																																									
形 式	入力番号																																																																																										
縦 縮 (両 引 き)	1,900kN(195 t)型 ①																																																																																										
	2,200kN(225 t)型 ②																																																																																										
縦 縮 (片 引 き)	1,900kN(195 t)型 ③																																																																																										
	2,200kN(225 t)型 ④																																																																																										
横 縮	570kN(60 t)型 ⑤																																																																																										
	750kN(80 t)型 ⑥																																																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 9/10																																																																																								

改正理由	一部改正	改正	備考																																																		
		現行																																																			
現 行		改 正																																																			
<p>表 15. 15 使用するケーブルシステム</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形 式</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パーシステムの場合</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>各種ケーブルシステム混用の場合</td> <td>②</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 15. 16 鋼棒径別種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形 式</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>φ26 A種2号, B種2号</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>φ32 A種2号, B種2号</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>φ26, φ32 (A種2号, B種2号)混用</td> <td>③</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 15. 17 縦締緊張ジャッキ規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,900kN(195 t)</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>2,200kN(225 t)</td> <td>②</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 15. 18 横締緊張ジャッキ規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>570kN(60 t)</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>750kN(80 t)</td> <td>②</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 15. 19 横・鉛直斜締緊張ジャッキ規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>φ 26</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>φ 32</td> <td>②</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 15. 20 鉛直斜締緊張ジャッキ規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>φ 26</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>φ 32</td> <td>②</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 15. 21 使用電源</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用電源</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>商 用 電 源</td> <td>②</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">IV-7-⑩-38</p>		形 式	入力番号	パーシステムの場合	①	各種ケーブルシステム混用の場合	②	形 式	入力番号	φ26 A種2号, B種2号	①	φ32 A種2号, B種2号	②	φ26, φ32 (A種2号, B種2号)混用	③	規 格	入力番号	1,900kN(195 t)	①	2,200kN(225 t)	②	規 格	入力番号	570kN(60 t)	①	750kN(80 t)	②	規 格	入力番号	φ 26	①	φ 32	②	規 格	入力番号	φ 26	①	φ 32	②	使用電源	入力番号	発 動 発 電 機	①	商 用 電 源	②	<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>表 15. 18 横締緊張ジャッキ規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>570kN(60 t)</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>750kN(80 t)</td> <td>②</td> </tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p>	規 格	入力番号	570kN(60 t)	①	750kN(80 t)	②	<p>記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>
形 式	入力番号																																																				
パーシステムの場合	①																																																				
各種ケーブルシステム混用の場合	②																																																				
形 式	入力番号																																																				
φ26 A種2号, B種2号	①																																																				
φ32 A種2号, B種2号	②																																																				
φ26, φ32 (A種2号, B種2号)混用	③																																																				
規 格	入力番号																																																				
1,900kN(195 t)	①																																																				
2,200kN(225 t)	②																																																				
規 格	入力番号																																																				
570kN(60 t)	①																																																				
750kN(80 t)	②																																																				
規 格	入力番号																																																				
φ 26	①																																																				
φ 32	②																																																				
規 格	入力番号																																																				
φ 26	①																																																				
φ 32	②																																																				
使用電源	入力番号																																																				
発 動 発 電 機	①																																																				
商 用 電 源	②																																																				
規 格	入力番号																																																				
570kN(60 t)	①																																																				
750kN(80 t)	②																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 10/10																																																		

改正理由	一部改正			改正 現行																																																		
現 行		改 正			備 考																																																	
<p>(8) 支承工1個当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">施工歩掛コード</td> <td colspan="2">WB472600</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/D×1</td> <td>表5.2, 表5.3</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>"</td> <td>1/D×2</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>1/D×2</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ゴム支承</td> <td></td> <td>個</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無収縮モルタル</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>必要数量計上</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 非出ガス対策型(第1次基準値) 25t吊</td> <td>日</td> <td>1/D×1</td> <td>表5.1, 表5.3 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) D:日当り施工量(個/日)</p>		施工歩掛コード		WB472600		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋りょう世話役		人	1/D×1	表5.2, 表5.3	橋りょう特殊工		"	1/D×2	"	普通作業員		"	1/D×2	"	ゴム支承		個	1		無収縮モルタル		m³		必要数量計上	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 非出ガス対策型(第1次基準値) 25t吊	日	1/D×1	表5.1, 表5.3 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表5.4	計					<p>現行どおり</p>			記載の修正
施工歩掛コード		WB472600																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																		
橋りょう世話役		人	1/D×1	表5.2, 表5.3																																																		
橋りょう特殊工		"	1/D×2	"																																																		
普通作業員		"	1/D×2	"																																																		
ゴム支承		個	1																																																			
無収縮モルタル		m³		必要数量計上																																																		
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 非出ガス対策型(第1次基準値) 25t吊	日	1/D×1	表5.1, 表5.3 機械賃料																																																		
諸 雑 費		式	1	表5.4																																																		
計																																																						
<p>(9) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m³/h</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 機械損料数量→1.00</td> </tr> </table>		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m³/h	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 機械損料数量→1.00	<p>(9) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m³/h</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→9981 機械損料数量→1.00</td> </tr> </table>			機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m³/h	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 99 81 機械損料数量→1.00																																		
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																			
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m³/h	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 機械損料数量→1.00																																																			
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																			
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m³/h	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 99 81 機械損料数量→1.00																																																			
積算上の注意事項	IV-7-⑩-9				(控え頁) 1/1																																																	

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																																																																		
現	行	改	正																																																																																																																																																	
<p>(4) 緊張工○○縮○○KN (○○t) 型10ケーブル当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">施工歩掛コード</td> <td>WB472732</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.7~表3.9</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>型わく工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>定番装置</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(5) ケーブル緊張工(縦縮・横縮・鉛直縮) 10ケーブル当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">施工歩掛コード</td> <td>WB472730</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>ケーブル工</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td>単価表(3)(注)</td> </tr> <tr> <td>緊張工</td> <td></td> <td>ケーブル</td> <td>10</td> <td>単価表(4)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) ケーブル10本当りケーブル延長である。</p> <p>(6) 落橋防止装置取付工1組当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">施工歩掛コード</td> <td>WB472810</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/D×1</td> <td>表4.2, 表4.3</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/D×3</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/D×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>落橋防止装置</td> <td></td> <td>組</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td>日</td> <td>1/D×1</td> <td>表4.1, 表4.3 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) D: 日当り施工量(組/日)</p> <p>(7) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m³/h</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 98 機械賃料数量→ 1.01</td> </tr> </table>		施工歩掛コード	WB472732	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋りょう世話役		人		表3.7~表3.9	橋りょう特殊工		〃		〃	型わく工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	定番装置		個		〃	諸雑費		式	1	〃	計					施工歩掛コード	WB472730	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ケーブル工		m		単価表(3)(注)	緊張工		ケーブル	10	単価表(4)	計					施工歩掛コード	WB472810	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋りょう世話役		人	1/D×1	表4.2, 表4.3	橋りょう特殊工		〃	1/D×3	〃	普通作業員		〃	1/D×1	〃	落橋防止装置		組	1		ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日	1/D×1	表4.1, 表4.3 機械賃料	諸雑費		式	1	表4.4	計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m ³ /h	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 98 機械賃料数量→ 1.01	<p>(5) ケーブル・緊張工(縦縮・横縮・鉛直縮) 10ケーブル当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">施工歩掛コード</td> <td>WB472730</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>ケーブル工</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td>単価表(3)(注)</td> </tr> <tr> <td>緊張工</td> <td></td> <td>ケーブル</td> <td>10</td> <td>単価表(4)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) ケーブル10本当りケーブル延長である。</p> <p>(7) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m³/h</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 9879 機械賃料数量→ 1.01</td> </tr> </table>		施工歩掛コード	WB472730	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ケーブル工		m		単価表(3)(注)	緊張工		ケーブル	10	単価表(4)	計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m ³ /h	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 98 79 機械賃料数量→ 1.01	<p>現行どおり</p> <p>記載の修正</p> <p>現行どおり</p> <p>記載の修正</p>
施工歩掛コード	WB472732																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
橋りょう世話役		人		表3.7~表3.9																																																																																																																																																
橋りょう特殊工		〃		〃																																																																																																																																																
型わく工		〃		〃																																																																																																																																																
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																																
定番装置		個		〃																																																																																																																																																
諸雑費		式	1	〃																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																				
施工歩掛コード	WB472730																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
ケーブル工		m		単価表(3)(注)																																																																																																																																																
緊張工		ケーブル	10	単価表(4)																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																				
施工歩掛コード	WB472810																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
橋りょう世話役		人	1/D×1	表4.2, 表4.3																																																																																																																																																
橋りょう特殊工		〃	1/D×3	〃																																																																																																																																																
普通作業員		〃	1/D×1	〃																																																																																																																																																
落橋防止装置		組	1																																																																																																																																																	
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日	1/D×1	表4.1, 表4.3 機械賃料																																																																																																																																																
諸雑費		式	1	表4.4																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																				
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																																	
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m ³ /h	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 98 機械賃料数量→ 1.01																																																																																																																																																	
施工歩掛コード	WB472730																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
ケーブル工		m		単価表(3)(注)																																																																																																																																																
緊張工		ケーブル	10	単価表(4)																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																				
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																																	
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m ³ /h	機-18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 98 79 機械賃料数量→ 1.01																																																																																																																																																	
IV-7-⑫-9																																																																																																																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																																																																																	

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																								
	<p>現 行</p> <p>(1) 取替工(鋼フィンガージョイント等の設置) 鋼フィンガージョイント等を設置する場合の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 取替工歩掛 (1m当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準 値) 16t吊</td> <td>日</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛は、カッター工、はつり工、旧ジョイント撤去工、据付工、型枠工、打設工等全工程を含む。 2. ラフテレンクレーン(油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)16t吊)は、路面上で作業するものとし、伸縮装置質量が2.0t程度を標準とする。なお、これにより難い場合は別途考慮する。 3. ラフテレンクレーンは、賃料とする。 4. 諸雑費は、コンクリートカッタ、空気圧縮機、コンクリートブレーカ、ピックハンマ、電気溶接機、ジャッキ、レバブロック等の機械器具損料、また、チゼル、コンクリートパイプレータ、コンクリート仕上コテ、ディスクサンダ、その他設置に必要な雑器具類等の費用及び遊間型枠用材料、切断用ガス、溶接棒、カッターブレード損耗費、燃料費、油脂類費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 本歩掛は、車道部だけの取替工歩掛のため、地覆、歩道部等については、別途考慮する。 6. 足場が必要な場合は、仮設足場費用を別途計上する。 7. コンクリート塊等の積込み・運搬・処分費は、別途計上する。</p> <p>(2) 取替工(既製品ジョイントの設置) 既製品ジョイントを設置する場合の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.3 取替工歩掛 (1m当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>トラック運転</td> <td>クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t</td> <td>日</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛は、カッター工、はつり工、旧ジョイント撤去工、据付工、打設工等全工程を含む。 2. トラック[クレーン装置付](ベーストラック4t級 吊能力2.9t)は、路面上で作業するものとし、伸縮装置質量が0.2~0.3t程度を標準とする。なお、これにより難い場合は別途考慮する。 3. トラック[クレーン装置付]は、賃料とする。 4. 諸雑費は、コンクリートカッタ、空気圧縮機、コンクリートブレーカ、ピックハンマ、ガス切断機、電気溶接機、高周波発電機等の機械器具損料、また、チゼル、コンクリートパイプレータ、コンクリート仕上コテ、その他設置に必要な雑器具類等の費用及び遊間型枠用材料、切断用ガス、溶接棒、カッターブレード損耗費、コンクリート養生剤、燃料費、油脂類費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 本歩掛は、車道部だけの取替工歩掛のため、地覆、歩道部等については、別途考慮する。 6. 足場が必要な場合は、仮設足場費用を別途計上する。 7. コンクリート塊等の積込み・運搬・処分費は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">IV-7-⑯-3</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	橋りょう世話役		人	0.4	特殊作業員		〃	3.5	普通作業員		〃	1.4	ラフテレンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準 値) 16t吊	日	0.4	諸 雑 費 率		%	18	名 称	規 格	単 位	数 量	橋りょう世話役		人	0.2	特殊作業員		〃	1.2	普通作業員		〃	0.5	トラック運転	クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	日	0.2	諸 雑 費 率		%	23	<p>改 正</p> <p>現 行</p> <p style="text-align: center;">表5.3 取替工歩掛 (1m当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>トラック運転</td> <td>クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t</td> <td>日</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>22.2</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">記載の修正</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	橋りょう世話役		人	0.2	特殊作業員		〃	1.2	普通作業員		〃	0.5	トラック運転	クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	日	0.2	諸 雑 費 率		%	22.2	<p>備 考</p> <p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																								
橋りょう世話役		人	0.4																																																																								
特殊作業員		〃	3.5																																																																								
普通作業員		〃	1.4																																																																								
ラフテレンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準 値) 16t吊	日	0.4																																																																								
諸 雑 費 率		%	18																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																								
橋りょう世話役		人	0.2																																																																								
特殊作業員		〃	1.2																																																																								
普通作業員		〃	0.5																																																																								
トラック運転	クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	日	0.2																																																																								
諸 雑 費 率		%	23																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																								
橋りょう世話役		人	0.2																																																																								
特殊作業員		〃	1.2																																																																								
普通作業員		〃	0.5																																																																								
トラック運転	クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	日	0.2																																																																								
諸 雑 費 率		%	22.2																																																																								
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																								

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																	
	現 行	改 正																																																																		
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 コンクリートアンカーボルト設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・幅広デッキタイプ 作業床高さ 10～12m未満</td> <td>・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 あと施工アンカー 志棒打込み式 M12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 L2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 排水管設置 (1) 条件区分 条件区分は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 排水管設置 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">足場の有無</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">無し</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">有り</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、橋梁、シェッドの取付金具、排水管(蛇腹管・エルボ等の排水管付属品の設置も含む)の設置の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等含む)を含む。ただし、排水管(材料費)は含まない。 2. 排水管の材料費は別途計上する。 3. 足場の設置は、別途計上する。 4. 現場条件等により代表機材一覧(表3.4)に示す機械・規格により違い場合は、別途考慮する。</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・幅広デッキタイプ 作業床高さ 10～12m未満	・賃料	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 特殊作業員		R 2 普通作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 運転手(特殊)		材料	Z 1 あと施工アンカー 志棒打込み式 M12		Z 2 軽油 L2号 バトロール給油		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		足場の有無	無し	有り	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 コンクリートアンカーボルト設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・幅広デッキタイプ 作業床高さ 10～12m未満 以下</td> <td>・賃料 ・足場無しの場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手(特殊)</td> <td>・足場無しの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 あと施工アンカー 志棒打込み式 M12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 L2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・幅広デッキタイプ 作業床高さ 10～12m 未満 以下	・賃料 ・足場無しの場合	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 特殊作業員		R 2 普通作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 運転手(特殊)	・足場無しの場合	材料	Z 1 あと施工アンカー 志棒打込み式 M12		Z 2 軽油 L2号 バトロール給油		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		記載の変更
項目	代表機材規格	備考																																																																		
機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・幅広デッキタイプ 作業床高さ 10～12m未満	・賃料																																																																		
	K 2 -																																																																			
	K 3 -																																																																			
労務	R 1 特殊作業員																																																																			
	R 2 普通作業員																																																																			
	R 3 土木一般世話役																																																																			
	R 4 運転手(特殊)																																																																			
材料	Z 1 あと施工アンカー 志棒打込み式 M12																																																																			
	Z 2 軽油 L2号 バトロール給油																																																																			
	Z 3 -																																																																			
	Z 4 -																																																																			
市場単価	S -																																																																			
足場の有無																																																																				
無し																																																																				
有り																																																																				
項目	代表機材規格	備考																																																																		
機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・幅広デッキタイプ 作業床高さ 10～12m 未満 以下	・賃料 ・足場無しの場合																																																																		
	K 2 -																																																																			
	K 3 -																																																																			
労務	R 1 特殊作業員																																																																			
	R 2 普通作業員																																																																			
	R 3 土木一般世話役																																																																			
	R 4 運転手(特殊)	・足場無しの場合																																																																		
材料	Z 1 あと施工アンカー 志棒打込み式 M12																																																																			
	Z 2 軽油 L2号 バトロール給油																																																																			
	Z 3 -																																																																			
	Z 4 -																																																																			
市場単価	S -																																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																																																	

改正理由	一部改正	改正 — 現 行																																																																																									
現	行	改	正																																																																																								
		備	考																																																																																								
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 排水管設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・幅広デッキタイプ 作業床高さ 10～12m未満</td> <td>・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-3 排水管(材料費) (1) 条件区分 排水管(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 排水管(材料費)は、排水管(蛇腹管・エルボ等の排水管付属品も含む)、取付金具の材料費を全て含む。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・幅広デッキタイプ 作業床高さ 10～12m未満	・賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	特殊作業員		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	運転手(特殊)		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p style="font-size: 2em;">→</p>	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 排水管設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・幅広デッキタイプ 作業床高さ 10～12m以下</td> <td>・賃料 ・足場無しの場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>・足場無しの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・幅広デッキタイプ 作業床高さ 10～12m以下	・賃料 ・足場無しの場合	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	特殊作業員		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	運転手(特殊)	・足場無しの場合	材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>記載の変更</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K 1	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・幅広デッキタイプ 作業床高さ 10～12m未満	・賃料																																																																																								
	K 2	—																																																																																									
	K 3	—																																																																																									
労務	R 1	特殊作業員																																																																																									
	R 2	普通作業員																																																																																									
	R 3	土木一般世話役																																																																																									
	R 4	運転手(特殊)																																																																																									
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																									
	Z 2	—																																																																																									
	Z 3	—																																																																																									
	Z 4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K 1	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・幅広デッキタイプ 作業床高さ 10～12m以下	・賃料 ・足場無しの場合																																																																																								
	K 2	—																																																																																									
	K 3	—																																																																																									
労務	R 1	特殊作業員																																																																																									
	R 2	普通作業員																																																																																									
	R 3	土木一般世話役																																																																																									
	R 4	運転手(特殊)	・足場無しの場合																																																																																								
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																									
	Z 2	—																																																																																									
	Z 3	—																																																																																									
	Z 4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
IV-7-⑩-3																																																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																																																																								

工 種	歩道橋(側道橋)架設工
-----	-------------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																											
	<p>現 行</p> <p>(14) 側板取外し10㎡当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: 100px;"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB473470</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: 100px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 6.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(15) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="margin-left: 100px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ト ラ ッ ク</td> <td>クレーン装置付 ベーストラック4t級・ 吊能力2.9t</td> <td>機→28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→36 機械賃料数量→1.00</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">IV-7-⑩-12</p>	施工歩掛コード	WB473470	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表 6.2	普通作業員		人		"	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	ト ラ ッ ク	クレーン装置付 ベーストラック4t級・ 吊能力2.9t	機→28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→36 機械賃料数量→1.00	<p>改 正</p> <p>現 行</p> <p>現行どおり</p> <p>(15) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="margin-left: 100px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ト ラ ッ ク</td> <td>クレーン装置付 ベーストラック4t級・ 吊能力2.9t</td> <td>機→28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→3633 機械賃料数量→1.00</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	ト ラ ッ ク	クレーン装置付 ベーストラック4t級・ 吊能力2.9t	機→28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 36 33 機械賃料数量→1.00	<p>記載の修正</p>
施工歩掛コード	WB473470																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																										
土木一般世話役		人		表 6.2																																										
普通作業員		人		"																																										
諸 雑 費		式	1																																											
計																																														
名 称	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																											
ト ラ ッ ク	クレーン装置付 ベーストラック4t級・ 吊能力2.9t	機→28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→36 機械賃料数量→1.00																																											
名 称	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																											
ト ラ ッ ク	クレーン装置付 ベーストラック4t級・ 吊能力2.9t	機→28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 36 33 機械賃料数量→1.00																																											
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>1 / 1</p>																																											

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																			
現	行	改	正																																			
<p>5. 鋼製橋脚地組工 鋼製橋脚地組工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 鋼製橋脚地組工歩掛</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>日当り施工量 Dj (t/日)</th> <th colspan="2">編 成 人 員 (人)</th> <th>諸雑费率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">$Dj = \frac{W}{0.5r}$</td> <td>橋りょう世話役</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>W：鋼製橋脚総地組質量 (t) r：鋼製橋脚地組連結箇所数 (箇所)</p> <p>(注) 1. 本歩掛は、鋼製橋脚地組に伴う仮締めを含む。 2. 諸雑費は、鋼製橋脚地組に伴う足場 (安全ネット付)、仮締めボルト、ドリフトピン、組立工具損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 鋼製橋脚質量は「鋼道路橋数量集計マニュアル (案)」において鋼製脚の大型材片及び小型材片に分類されている部材の総質量である。 4. 日当り施工量Djは小数第2位を四捨五入し、第1位とする。</p> <p>6. 鋼製橋脚架設工 鋼製橋脚架設工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 鋼製橋脚架設工歩掛</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>日当り架設質量 Dk (t/日)</th> <th colspan="2">編 成 人 員 (人)</th> <th>諸雑费率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">$Dk = \frac{W}{0.78b + 1.8f}$</td> <td>橋りょう世話役</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>W：鋼製橋脚総架設質量 (t) b：鋼製橋脚架設ブロック数 (ブロック) f：鋼製橋脚数 (脚)</p> <p>(注) 1. 本歩掛は、鋼製橋脚架設に伴う仮締め及び脚柱基部グラウト注入を含む。 2. 諸雑費は、鋼製橋脚架設に伴う部分作業床 (安全ネット付)、仮締めボルト、ドリフトピン、グラウトポンプ、グラウトミキサ、架設工具の損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 鋼製橋脚質量は「鋼道路橋数量集計マニュアル (案)」において鋼製脚の大型材片及び小型材片に分類されている部材の総質量である。 4. 日当り架設質量Dkは小数第2位を四捨五入し、第1位とする。 5. グラウト注入材料は、別途計上する。 6. ベント設備を使用し架設する場合のベント設備設置・撤去歩掛は、「第IV編第7章③鋼橋架設工」により別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">IV-7-⑧-3</p>	日当り施工量 Dj (t/日)	編 成 人 員 (人)		諸雑费率 (%)	$Dj = \frac{W}{0.5r}$	橋りょう世話役	1	8	橋りょう特殊工	5	普通作業員	1	日当り架設質量 Dk (t/日)	編 成 人 員 (人)		諸雑费率 (%)	$Dk = \frac{W}{0.78b + 1.8f}$	橋りょう世話役	1	8	橋りょう特殊工	5	普通作業員	1	<p style="text-align: center;">現 行 ど お り</p> <p>6. 鋼製橋脚架設工 鋼製橋脚架設工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 鋼製橋脚架設工歩掛</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>日当り架設質量 Dk (t/日)</th> <th colspan="2">編 成 人 員 (人)</th> <th>諸雑费率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">$Dk = \frac{W}{0.78b + 1.8f}$</td> <td>橋りょう世話役</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">\$7</td> </tr> <tr> <td>橋りょう特殊工</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>W：鋼製橋脚総架設質量 (t) b：鋼製橋脚架設ブロック数 (ブロック) f：鋼製橋脚数 (脚)</p> <p style="text-align: center;">現 行 ど お り</p>	日当り架設質量 Dk (t/日)	編 成 人 員 (人)		諸雑费率 (%)	$Dk = \frac{W}{0.78b + 1.8f}$	橋りょう世話役	1	\$7	橋りょう特殊工	5	普通作業員	1	<p style="text-align: center;">記 載 の 変 更 (歩 掛 改 定 に 伴 う)</p>
日当り施工量 Dj (t/日)	編 成 人 員 (人)		諸雑费率 (%)																																			
$Dj = \frac{W}{0.5r}$	橋りょう世話役	1	8																																			
	橋りょう特殊工	5																																				
	普通作業員	1																																				
日当り架設質量 Dk (t/日)	編 成 人 員 (人)		諸雑费率 (%)																																			
$Dk = \frac{W}{0.78b + 1.8f}$	橋りょう世話役	1	8																																			
	橋りょう特殊工	5																																				
	普通作業員	1																																				
日当り架設質量 Dk (t/日)	編 成 人 員 (人)		諸雑费率 (%)																																			
$Dk = \frac{W}{0.78b + 1.8f}$	橋りょう世話役	1	\$7																																			
	橋りょう特殊工	5																																				
	普通作業員	1																																				
積算上の注意事項			<p style="text-align: right;">(控え頁)</p> <p style="text-align: right;">1/2</p>																																			

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行																																							
現	行	改	正																																						
<p>7. 現場溶接工 現場溶接工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7.1 現場溶接工歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>日当り施工量 Dh (m/日)</th> <th>編 成 人 員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">$Dh = \frac{M \times \alpha \times \beta}{1.03M/10 + 12.6}$ ただし、$3 \beta \leq Dh \leq 10 \beta$</td> <td style="text-align: center;">橋りょう世話役 橋りょう特殊工</td> <td style="text-align: center;">1 8</td> </tr> </tbody> </table> <p>M: 鋼製橋脚溶接総実延長 (m) α: 板厚による係数 (付表-1) β: 溶接ビード仕上げによる影響係数 (付表-2) (注) 1. 橋脚が複数ある場合は、各橋脚毎に溶接実延長を算出する。</p> <p style="text-align: center;">付表-1 板厚による係数 (α)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均板厚 (mm)</th> <th>20 未満</th> <th>20 以上 30 未満</th> <th>30 以上 40 未満</th> <th>40 以上 50 未満</th> <th>50 以上 55 未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">α</td> <td style="text-align: center;">1.15</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> <td style="text-align: center;">0.85</td> <td style="text-align: center;">0.70</td> <td style="text-align: center;">0.55</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 平均板厚は、下記のとおり加重平均して算出する。 平均板厚 = $\frac{(t_1 \times \ell_1) + (t_2 \times \ell_2) + \dots}{\ell_1 + \ell_2 + \dots}$ tn: 各々の板厚 (mm) ℓn: 各々の板厚に対する延長 (m)</p> <p style="text-align: center;">付表-2 溶接ビード仕上げによる影響係数 (β)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>仕上げの程度</th> <th>β</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビード仕上げ無し</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> </tr> <tr> <td>〃 有り</td> <td style="text-align: center;">0.80</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 溶接ビード仕上げによる影響係数 (β) は、下記のとおり加重平均して算出する。 影響係数 (β) = $\frac{(1.00 \times \ell_1) + (0.80 \times \ell_2)}{\ell_1 + \ell_2}$ ℓ1: ビード仕上げ無しの溶接延長 (m) ℓ2: ビード仕上げ有りの溶接延長 (m)</p> <p>(注) 1. 本歩掛は、鋼製橋脚架設に伴う現場溶接工に適用する。 2. 本歩掛は、母材材質がSM400～SM570の場合に適用する。 3. 付表2における「ビード仕上有り」とは、道路橋示方書に示す余盛り高さ以上に平滑に仕上げる場合を示す。 4. 諸雑費は、現場溶接工に伴う部分作業床 (安全ネット付)、仮締めボルト、ドリフトピン、空気圧縮機、整流器、電気溶接機・CO₂自動溶接装置・溶接棒乾燥機損料、溶接棒、溶接ワイヤ、CO₂ガス、防風設備、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 日当り施工量Dhは小数第2位を四捨五入し、第1位とする。</p> <p style="text-align: center;">IV-7-03-4</p>		日当り施工量 Dh (m/日)	編 成 人 員 (人)	諸雑費率 (%)	$Dh = \frac{M \times \alpha \times \beta}{1.03M/10 + 12.6}$ ただし、 $3 \beta \leq Dh \leq 10 \beta$	橋りょう世話役 橋りょう特殊工	1 8	平均板厚 (mm)	20 未満	20 以上 30 未満	30 以上 40 未満	40 以上 50 未満	50 以上 55 未満	α	1.15	1.00	0.85	0.70	0.55	仕上げの程度	β	ビード仕上げ無し	1.00	〃 有り	0.80	<p>7. 現場溶接工 現場溶接工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7.1 現場溶接工歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>日当り施工量 Dh (m/日)</th> <th>編 成 人 員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">$Dh = \frac{M \times \alpha \times \beta}{1.03M/10 + 12.6}$ ただし、$3 \beta \leq Dh \leq 10 \beta$</td> <td style="text-align: center;">橋りょう世話役 橋りょう特殊工</td> <td style="text-align: center;">1 8</td> </tr> </tbody> </table> <p>M: 鋼製橋脚溶接総実延長 (m) α: 板厚による係数 (付表-1) β: 溶接ビード仕上げによる影響係数 (付表-2) (注) 1. 橋脚が複数ある場合は、各橋脚毎に溶接実延長を算出する。</p> <p style="text-align: center;">付表-2 溶接ビード仕上げによる影響係数 (β)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>仕上げの程度</th> <th>β</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビード仕上げ無し</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> </tr> <tr> <td>〃 有り</td> <td style="text-align: center;">0.80</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 溶接ビード仕上げによる影響係数 (β) は、下記のとおり加重平均して算出する。 影響係数 (β) = $\frac{(1.00 \times \ell_1) + (0.80 \times \ell_2)}{\ell_1 + \ell_2}$ ℓ1: ビード仕上げ無しの溶接延長 (m) ℓ2: ビード仕上げ有りの溶接延長 (m) ただし、影響係数は小数第3位を四捨五入し、第2位とする。</p> <p>(注) 1. 本歩掛は、鋼製橋脚架設に伴う現場溶接工に適用する。 2. 本歩掛は、母材材質がSM400～SM570の場合に適用する。 3. 付表2における「ビード仕上有り」とは、道路橋示方書に示す余盛り高さ以上に平滑に仕上げる場合を示す。 4. 諸雑費は、現場溶接工に伴う部分作業床 (安全ネット付)、仮締めボルト、ドリフトピン、空気圧縮機、整流器、電気溶接機・CO₂自動溶接装置・溶接棒乾燥機損料、溶接棒、溶接ワイヤ、CO₂ガス、防風設備、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 日当り施工量Dhは小数第2位を四捨五入し、第1位とする。</p>		日当り施工量 Dh (m/日)	編 成 人 員 (人)	諸雑費率 (%)	$Dh = \frac{M \times \alpha \times \beta}{1.03M/10 + 12.6}$ ただし、 $3 \beta \leq Dh \leq 10 \beta$	橋りょう世話役 橋りょう特殊工	1 8	仕上げの程度	β	ビード仕上げ無し	1.00	〃 有り	0.80	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p style="text-align: center;">記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p> <p style="text-align: center;">記載の変更 (歩掛改定に伴う)</p>
日当り施工量 Dh (m/日)	編 成 人 員 (人)	諸雑費率 (%)																																							
$Dh = \frac{M \times \alpha \times \beta}{1.03M/10 + 12.6}$ ただし、 $3 \beta \leq Dh \leq 10 \beta$	橋りょう世話役 橋りょう特殊工	1 8																																							
平均板厚 (mm)	20 未満	20 以上 30 未満	30 以上 40 未満	40 以上 50 未満	50 以上 55 未満																																				
α	1.15	1.00	0.85	0.70	0.55																																				
仕上げの程度	β																																								
ビード仕上げ無し	1.00																																								
〃 有り	0.80																																								
日当り施工量 Dh (m/日)	編 成 人 員 (人)	諸雑費率 (%)																																							
$Dh = \frac{M \times \alpha \times \beta}{1.03M/10 + 12.6}$ ただし、 $3 \beta \leq Dh \leq 10 \beta$	橋りょう世話役 橋りょう特殊工	1 8																																							
仕上げの程度	β																																								
ビード仕上げ無し	1.00																																								
〃 有り	0.80																																								
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																						

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考																																																																																														
	現 行	改 正	備 考																																																																																														
	<p>(3) 逆丁式橋台10m³当り単価表〔橋台・橋脚工(1)〕</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="font-size: small;">施工歩掛コード</td> <td style="text-align: center;">WB474240</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">名 称</th> <th style="font-size: small;">規 格</th> <th style="font-size: small;">単 位</th> <th style="font-size: small;">数 量</th> <th style="font-size: small;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.7～表3.12</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>型わく工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>10.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ運転</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h</td> <td>日</td> <td>0.06</td> <td>表3.7～表3.12 機械損料</td> </tr> <tr> <td>圧送管組立・撤去費</td> <td></td> <td>m³</td> <td>10</td> <td>単価表(4) 必要に応じて計上 (注)</td> </tr> <tr> <td>養生工(特殊養生)</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上 (注)</td> </tr> <tr> <td>雑工種 基礎材敷設転圧</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>雑工種 均しコンクリート打設</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表3.7～表3.12</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(注) 1. 圧送管組立・撤去費、養生工(特殊養生)を計上した場合は諸雑費の対象としない。 2. 養生工(特殊養生)については、「第Ⅱ編第4章コンクリート工①コンクリート工5-3養生工(特殊養生)」,「第Ⅱ編第5章仮設工③-2雪寒假囲い工5.養生工」によるものとする。</p> <p>(4) 圧送管組立・撤去費単価表〔橋台・橋脚10m³当り〕</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="font-size: small;">施工歩掛コード</td> <td style="text-align: center;">WB474250</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">名 称</th> <th style="font-size: small;">規 格</th> <th style="font-size: small;">単 位</th> <th style="font-size: small;">数 量</th> <th style="font-size: small;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.46×L/B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(注) 1. Lは、コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超えた部分の圧送管延長とする。 2. B：標準日打設量=110m³</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">IV-7-⑯-12</p>	施工歩掛コード	WB474240	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表3.7～表3.12	特殊作業員		〃		〃	型わく工		〃		〃	とび工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	コンクリート		m ³	10.2		コンクリートポンプ運転	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m ³ /h	日	0.06	表3.7～表3.12 機械損料	圧送管組立・撤去費		m ³	10	単価表(4) 必要に応じて計上 (注)	養生工(特殊養生)		式	1	必要に応じて計上 (注)	雑工種 基礎材敷設転圧		〃	1	必要に応じて計上	雑工種 均しコンクリート打設		〃	1	〃	諸 雑 費		〃	1	表3.7～表3.12	計					施工歩掛コード	WB474250	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人	0.46×L/B		諸 雑 費		式	1		計					<p>現行どおり</p>	<p>記載の変更</p>
施工歩掛コード	WB474240																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																													
土木一般世話役		人		表3.7～表3.12																																																																																													
特殊作業員		〃		〃																																																																																													
型わく工		〃		〃																																																																																													
とび工		〃		〃																																																																																													
普通作業員		〃		〃																																																																																													
コンクリート		m ³	10.2																																																																																														
コンクリートポンプ運転	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m ³ /h	日	0.06	表3.7～表3.12 機械損料																																																																																													
圧送管組立・撤去費		m ³	10	単価表(4) 必要に応じて計上 (注)																																																																																													
養生工(特殊養生)		式	1	必要に応じて計上 (注)																																																																																													
雑工種 基礎材敷設転圧		〃	1	必要に応じて計上																																																																																													
雑工種 均しコンクリート打設		〃	1	〃																																																																																													
諸 雑 費		〃	1	表3.7～表3.12																																																																																													
計																																																																																																	
施工歩掛コード	WB474250																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																													
普通作業員		人	0.46×L/B																																																																																														
諸 雑 費		式	1																																																																																														
計																																																																																																	
	<p>(5) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">機 械 名</th> <th style="font-size: small;">規 格</th> <th style="font-size: small;">適 用 単 価 表</th> <th style="font-size: small;">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: small;">コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車</td> <td rowspan="2" style="font-size: small;">トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m³/h</td> <td rowspan="2" style="font-size: small;">機-20</td> <td style="font-size: small;">機械損料1→コンクリート ポンプ車 運転労務数量→1.00 燃料消費量→68kg 機械損料数量→1.03</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">機械損料2→コンクリート 圧送管(径155mm) 単 位→m・供用日 数→L×1.03</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(注) Lは、コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超えた部分の圧送管延長とする。</p>	機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m ³ /h	機-20	機械損料1→コンクリート ポンプ車 運転労務数量→1.00 燃料消費量→68kg 機械損料数量→1.03	機械損料2→コンクリート 圧送管(径155mm) 単 位→m・供用日 数→L×1.03	<p>次頁から移動</p>																																																																																						
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																														
コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m ³ /h	機-20	機械損料1→コンクリート ポンプ車 運転労務数量→1.00 燃料消費量→68kg 機械損料数量→1.03																																																																																														
			機械損料2→コンクリート 圧送管(径155mm) 単 位→m・供用日 数→L×1.03																																																																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 1/4																																																																																														

改正理由	一部改正		改正	備考																																					
	現 行		改 正																																						
	<p>(5) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m³/h</td> <td>機-20</td> <td>機械損料 1→コンクリートポンプ車 運転労務数量→1.00 燃料消費量→82 機械損料数量→1.03 機械損料 2→コンクリート圧送管(径125mm) 車位→m・供用日 車数→L×1.03</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) Lは、コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超えた部分の圧送管延長とする。</p>		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m ³ /h	機-20	機械損料 1→コンクリートポンプ車 運転労務数量→1.00 燃料消費量→82 機械損料数量→1.03 機械損料 2→コンクリート圧送管(径125mm) 車位→m・供用日 車数→L×1.03	前頁へ移動																														
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																						
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m ³ /h	機-20	機械損料 1→コンクリートポンプ車 運転労務数量→1.00 燃料消費量→82 機械損料数量→1.03 機械損料 2→コンクリート圧送管(径125mm) 車位→m・供用日 車数→L×1.03																																						
	<p>5. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) T形橋脚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工歩掛コード</th> <td>WB474210</td> <th>施工単位</th> <td>m</td> </tr> <tr> <th>施工区分</th> <th colspan="5">入 力 条 件</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">各 種</th> <th>J 1</th> <th>J 2</th> <th>J 3</th> <th>J 4</th> <th>J 5</th> <th>J 6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高さ区分</td> <td>打設量区分</td> <td>生コンクリート規格</td> <td>養生工</td> <td>特別な養生</td> <td>雑工種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(表5.1)</td> <td>(表5.2)</td> <td>(表5.3)</td> <td>(表5.4)</td> <td>(表5.5)</td> <td>(表5.6)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>J 7</th> <th>J 8</th> <th>J 9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生コンクリートの夜間割増の有無 ①無 ②有</td> <td>圧送管組立・撤去の有無 ①無 ②有</td> <td>圧送管延長 (m) (実数入力)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工量は、圧送管の有無毎の本体コンクリートの設計量を入力すること。 2. J 1条件で①を選択した場合は、J 2条件の③~⑦は選択出来ない。 J 1条件で②を選択した場合は、J 2条件の①、②、⑥、⑦は選択出来ない。 J 1条件で③を選択した場合は、J 2条件の①~⑤は選択出来ない。 3. J 3条件で③を選択した場合は、生コンクリート単価 (Y0210000) [円/m³]を単価登録すること。 4. J 4条件で①、③を選択した場合は、J 5条件は選択する必要はない。 5. J 4条件で③を選択した場合は、養生費が「第II編第5章⑬-2雪寒仮囲い工 (WB253240) (仮囲い内ジェットヒータ養生)」により計上される。 なお、足場費を「第II編第5章⑬-2雪寒仮囲い工」により別途計上する。 6. J 5条件で①、②を選択した場合は各養生費が計上される。 7. 雑工種は、数量の多少にかかわらず必要か不必要かによって選択する。ただし、基礎材の敷均しは20cmまでとする。 8. J 7条件で②を選択した場合は、生コンクリート夜間割増額 (Y0213000) [円/m³]を単価登録すること。また、労務費調整係数も入力すること。 9. J 8条件は圧送管延長が30mを超えた場合に計上する。 なお、J 8条件で①を選択した場合は、J 9条件を入力する必要はない。 10. J 8条件で①を選択した場合は、J 9条件でコンクリートポンプ車から作業範囲30mを超えた部分の圧送管延長を実数入力すること。なお、圧送管延長は、標準日打設量に基づく、日々の圧送管延長を平均した延長となるため留意すること。 11. 圧送管組立・撤去は日々組立撤去に適用する。</p> <p style="text-align: center;">IV-7-⑬-13</p>		施工歩掛コード	WB474210	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件					各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	高さ区分	打設量区分	生コンクリート規格	養生工	特別な養生	雑工種			(表5.1)	(表5.2)	(表5.3)	(表5.4)	(表5.5)	(表5.6)	J 7	J 8	J 9	生コンクリートの夜間割増の有無 ①無 ②有	圧送管組立・撤去の有無 ①無 ②有	圧送管延長 (m) (実数入力)	現行どおり	記載の変更
施工歩掛コード	WB474210	施工単位	m																																						
施工区分	入 力 条 件																																								
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																			
	高さ区分	打設量区分	生コンクリート規格	養生工	特別な養生	雑工種																																			
	(表5.1)	(表5.2)	(表5.3)	(表5.4)	(表5.5)	(表5.6)																																			
J 7	J 8	J 9																																							
生コンクリートの夜間割増の有無 ①無 ②有	圧送管組立・撤去の有無 ①無 ②有	圧送管延長 (m) (実数入力)																																							
積算上の注意事項				(控え頁) 2/4																																					

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行																																																																										
現 行		改 正																																																																										
		備 考																																																																										
<p>(2) 壁式橋脚</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">施工歩掛コード</td> <td style="width: 20%;">WB474230</td> <td style="width: 20%;">施工単位</td> <td style="width: 20%;">㎡</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">各 種</td> <td style="text-align: center;">J 1</td> <td style="text-align: center;">J 2</td> <td style="text-align: center;">J 3</td> <td style="text-align: center;">J 4</td> <td style="text-align: center;">J 5</td> <td style="text-align: center;">J 6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高さ区分 (表5.7)</td> <td style="text-align: center;">打設量区分 (表5.8)</td> <td style="text-align: center;">生コンクリート 規格 (表5.3)</td> <td style="text-align: center;">養生工 (表5.4)</td> <td style="text-align: center;">特別な養生 (表5.5)</td> <td style="text-align: center;">雑工種 (表5.6)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">J 7</td> <td style="text-align: center;">J 8</td> <td style="text-align: center;">J 9</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">生コンクリート の夜間割増 の有無 ①無 ②有</td> <td style="text-align: center;">圧送管組立・ 撤去の有無 ①無 ②有</td> <td style="text-align: center;">圧送管延長 (m) (実数入力)</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 施工量は、圧送管の有無毎の本体コンクリートの設計量を入力すること。 2. J 1条件で①を選択した場合は、J 2条件の③、④は選択出来ない。 J 1条件で②を選択した場合は、J 2条件の①、②は選択出来ない。 3. J 3条件で③を選択した場合は、生コンクリート単価 (Y-0210000) [円/㎡]を単価登録すること。 4. J 4条件で①、③を選択した場合は、J 5条件は選択する必要はない。 5. J 4条件で③を選択した場合は、養生費が「第II編第5章仮設工③-2雪寒仮囲い工 (WB253240) (仮囲い内ジェットヒータ養生)」により計上される。 なお、足場費を「第II編第5章仮設工③-2雪寒仮囲い工」により別途計上する。 6. J 5条件で①、②を選択した場合は各養生費が計上される。 7. 雑工種は、数量の多少にかかわらず必要か不必要かによって選択する。ただし、基礎材の敷均しは20cm までとする。 8. J 7条件で②を選択した場合は、生コンクリート夜間割増額 (Y-0213000) [円/㎡]を単価登録すること。 また、労務費調整係数も入力すること。 9. J 8条件は圧送管延長が30mを超えた場合に計上する。 なお、J 8条件で①を選択した場合は、J 9条件を入力する必要はない。 10. J 8条件で②を選択した場合は、J 9条件でコンクリートポンプ車から作業範囲30mを超えた部分の圧 送管延長を実数入力すること。なお、圧送管延長は、標準日打設量に基づく、日々の圧送管延長を平均し た延長となるため留意すること。 11. 圧送管組立・撤去は日々組立撤去に適用する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <table border="1" style="width: 45%; border-collapse: collapse;"> <caption>表5.7 高さ区分</caption> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 m以上15m未満</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>15m以上20m未満</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 45%; border-collapse: collapse;"> <caption>表5.8 打設量区分</caption> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100㎡以上280㎡未満</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>280㎡以上700㎡未満</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> <tr> <td>250㎡以上520㎡未満</td> <td style="text-align: center;">③</td> </tr> <tr> <td>520㎡以上700㎡未満</td> <td style="text-align: center;">④</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center;">(注) 打設量は、1基当たり 全体の打設量とする。</p> <p style="text-align: center;">IV-7-⑬-15</p>		施工歩掛コード	WB474230	施工単位	㎡			施工区分	入 力 条 件					各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	高さ区分 (表5.7)	打設量区分 (表5.8)	生コンクリート 規格 (表5.3)	養生工 (表5.4)	特別な養生 (表5.5)	雑工種 (表5.6)		J 7	J 8	J 9					生コンクリート の夜間割増 の有無 ①無 ②有	圧送管組立・ 撤去の有無 ①無 ②有	圧送管延長 (m) (実数入力)				区 分	入力番号	5 m以上15m未満	①	15m以上20m未満	②	区 分	入力番号	100㎡以上280㎡未満	①	280㎡以上700㎡未満	②	250㎡以上520㎡未満	③	520㎡以上700㎡未満	④	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>7. 雑工種は、数量の多少にかかわらず必要か不必要かによって選択する。ただし、基礎材の敷均し厚は20cm までとする。 8. J 7条件で②を選択した場合は、生コンクリート夜間割増額 (Y-0213000) [円/㎡]を単価登録すること。 また、労務費調整係数も入力すること。 9. J 8条件は圧送管延長が30mを超えた場合に計上する。 なお、J 8条件で①を選択した場合は、J 9条件を入力する必要はない。 10. J 8条件で②を選択した場合は、J 9条件でコンクリートポンプ車から作業範囲30mを超えた部分の圧 送管延長を実数入力すること。なお、圧送管延長は、標準日打設量に基づく、日々の圧送管延長を平均し た延長となるため留意すること。 11. 圧送管組立・撤去は日々組立撤去に適用する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <table border="1" style="width: 45%; border-collapse: collapse;"> <caption>表5.7 高さ区分</caption> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 m以上15m未満</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>15m以上20m未満</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 45%; border-collapse: collapse;"> <caption>表5.8 打設量区分</caption> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100㎡以上280㎡未満</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>280㎡以上700㎡未満</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> <tr> <td>250㎡以上520㎡未満</td> <td style="text-align: center;">③</td> </tr> <tr> <td>520㎡以上700㎡未満</td> <td style="text-align: center;">④</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center;">(注) 打設量は、1基当たり 全体の打設量とする。</p>		区 分	入力番号	5 m以上15m未満	①	15m以上20m未満	②	区 分	入力番号	100㎡以上280㎡未満	①	280㎡以上700㎡未満	②	250㎡以上520㎡未満	③	520㎡以上700㎡未満	④	記載の変更	
施工歩掛コード	WB474230	施工単位	㎡																																																																									
施工区分	入 力 条 件																																																																											
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																																																						
	高さ区分 (表5.7)	打設量区分 (表5.8)	生コンクリート 規格 (表5.3)	養生工 (表5.4)	特別な養生 (表5.5)	雑工種 (表5.6)																																																																						
	J 7	J 8	J 9																																																																									
	生コンクリート の夜間割増 の有無 ①無 ②有	圧送管組立・ 撤去の有無 ①無 ②有	圧送管延長 (m) (実数入力)																																																																									
区 分	入力番号																																																																											
5 m以上15m未満	①																																																																											
15m以上20m未満	②																																																																											
区 分	入力番号																																																																											
100㎡以上280㎡未満	①																																																																											
280㎡以上700㎡未満	②																																																																											
250㎡以上520㎡未満	③																																																																											
520㎡以上700㎡未満	④																																																																											
区 分	入力番号																																																																											
5 m以上15m未満	①																																																																											
15m以上20m未満	②																																																																											
区 分	入力番号																																																																											
100㎡以上280㎡未満	①																																																																											
280㎡以上700㎡未満	②																																																																											
250㎡以上520㎡未満	③																																																																											
520㎡以上700㎡未満	④																																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																																																																									

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行																																												
現	行	改 正	備 考																																											
<p>(4) 逆T式橋台</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">施工歩掛コード</td> <td style="width: 15%;">WB474240</td> <td style="width: 15%;">施工単位</td> <td style="width: 15%;">㎡</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="6" style="text-align: center;">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">各 種</td> <td style="text-align: center;">J 1</td> <td style="text-align: center;">J 2</td> <td style="text-align: center;">J 3</td> <td style="text-align: center;">J 4</td> <td style="text-align: center;">J 5</td> <td style="text-align: center;">J 6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高さ区分</td> <td style="text-align: center;">打設量区分</td> <td style="text-align: center;">生コンクリート規格</td> <td style="text-align: center;">養生工</td> <td style="text-align: center;">特別な養生</td> <td style="text-align: center;">雑工種</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(表5.9)</td> <td style="text-align: center;">(表5.10)</td> <td style="text-align: center;">(表5.3)</td> <td style="text-align: center;">(表5.4)</td> <td style="text-align: center;">(表5.5)</td> <td style="text-align: center;">(表5.6)</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">J 7</td> <td style="text-align: center;">J 8</td> <td style="text-align: center;">J 9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">生コンクリートの夜間割増の有無</td> <td style="text-align: center;">圧送管組立・撤去の有無</td> <td style="text-align: center;">圧送管延長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">①無 ②有</td> <td style="text-align: center;">①無 ②有</td> <td style="text-align: center;">(m) (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注)1. 施工量は、圧送管の有無毎の本体コンクリートの設計量（翼壁上の壁高欄等を除く）を入力すること。 2. J 1条件で①を選択した場合は、J 2条件の③～⑥は選択出来ない。 J 1条件で②を選択した場合は、J 2条件の①、②及び⑦～⑩は選択出来ない。 J 1条件で③を選択した場合は、J 2条件の①～⑥及び⑦～⑩は選択出来ない。 J 1条件で④を選択した場合は、J 2条件の①～⑥及び⑦～⑩は選択出来ない。 J 1条件で⑤を選択した場合は、J 2条件の①～⑥及び⑦～⑩は選択出来ない。 J 1条件で⑥を選択した場合は、J 2条件の①～⑥は選択出来ない。 3. J 3条件で③を選択した場合は、生コンクリート単価 (Y-0210000) [円/㎡]を単価登録すること。 4. J 4条件で①、③を選択した場合は、J 5条件は選択する必要はない。 5. J 4条件で②を選択した場合は、養生費が「第II編第5章仮設工⑬-2 雪寒仮囲い工 (WB253240) (仮囲い内ジェットヒータ養生)」により計上される。 なお、足場費を「第II編第5章仮設工⑬-2 雪寒仮囲い工」により別途計上する。 6. J 5条件で①、②を選択した場合は各養生費が計上される。 7. 雑工種は、数量の多少にかかわらず必要か不必要かによって選択する。ただし、基礎材の敷均しは20cmまでとする。 8. J 7条件で②を選択した場合は、生コンクリート夜間割増額 (Y-0213000) [円/㎡]を単価登録すること。また、労務費調整係数も入力すること。 9. J 8条件は圧送管延長が30mを超えた場合に計上する。 なお、J 8条件で①を選択した場合は、J 9条件を入力する必要はない。 10. J 8条件で②を選択した場合は、J 9条件でコンクリートポンプ車から作業範囲30mを超えた部分の圧送管延長を実数入力すること。なお、圧送管延長は、標準日打設量に基づく、日々の圧送管延長を平均した延長となるため留意すること。 11. 圧送管組立・撤去は日々組立撤去に適用する。</p>		施工歩掛コード	WB474240	施工単位	㎡				施工区分	入 力 条 件						各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	高さ区分	打設量区分	生コンクリート規格	養生工	特別な養生	雑工種		(表5.9)	(表5.10)	(表5.3)	(表5.4)	(表5.5)	(表5.6)	J 7	J 8	J 9	生コンクリートの夜間割増の有無	圧送管組立・撤去の有無	圧送管延長	①無 ②有	①無 ②有	(m) (実数入力)	<p>(3-4) 逆T式橋台</p> <p>現行どおり</p> <p>記載の変更</p> <p>現行どおり</p>	
施工歩掛コード	WB474240	施工単位	㎡																																											
施工区分	入 力 条 件																																													
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																								
	高さ区分	打設量区分	生コンクリート規格	養生工	特別な養生	雑工種																																								
	(表5.9)	(表5.10)	(表5.3)	(表5.4)	(表5.5)	(表5.6)																																								
J 7	J 8	J 9																																												
生コンクリートの夜間割増の有無	圧送管組立・撤去の有無	圧送管延長																																												
①無 ②有	①無 ②有	(m) (実数入力)																																												
積算上の注意事項	IV-7-⑬-16		(控え頁) 4/4																																											

表5.9 高さ区分

区 分	入力番号
5 m未満	①
5 m以上7 m未満	②
7 m以上9 m未満	③
9 m以上10 m未満	④
10 m以上11 m未満	⑤
11 m以上12 m未満	⑥

(注) 翼壁厚0.4m以上0.6m以下に適用する。

表5.10 打設量区分

区 分	入力番号	区 分	入力番号
50㎡以上140㎡未満	①	130㎡以上280㎡未満	⑨
140㎡以上260㎡未満	②	280㎡以上310㎡未満	⑩
50㎡以上 90㎡未満	③	230㎡以上370㎡未満	⑪
90㎡以上160㎡未満	④	370㎡以上650㎡未満	⑫
160㎡以上310㎡未満	⑤	230㎡以上320㎡未満	⑬
70㎡以上110㎡未満	⑥	320㎡以上560㎡未満	⑭
110㎡以上210㎡未満	⑦	560㎡以上650㎡未満	⑮
210㎡以上310㎡未満	⑧		

(注) 打設量は、1基当たり全体の打設量（翼壁上の壁高欄等を除く）とする

工 種	橋台・橋脚工(2)
-----	-----------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																				
	<p>現 行</p> <p>⑨-2 橋台・橋脚工(2)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、「第IV編第7章橋梁工⑨-1橋台・橋脚工(1)」の適用範囲を外れた橋台・橋脚のコンクリート打設に適用する。なお、適用可能な形式は、T形橋脚(円形及び小判型含む)、壁式橋脚(小判型含む)及び逆T式橋台とし、同一構造物で、コンクリート強度が異なる場合、フーチングのみ又は躯体のみの施工の場合は適用出来ない。適用を外れる橋台・橋脚については、「第II編第4章①コンクリート工」等により別途計上する。</p> <p>2. 施工歩掛 2-1 橋台・橋脚コンクリート打設歩掛 橋台・橋脚工コンクリート打設歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表2.1 コンクリート打設歩掛 (人/10m³当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">コンクリート打設量 (m³/基)</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">50m³以上</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役 人</td> <td></td> <td></td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td></td> <td>0.18</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td></td> <td>0.24</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車運転</td> <td>日</td> <td></td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td></td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. コンクリートポンプ車の機種については、「第IV編第7章⑨-1橋台・橋脚工(1)」表3.1による。 2. コンクリートのロス率は、+0.02として上表に含めてある。 3. 上表には、ホースの簡先作業等を行う機械付補助労務を含む。 4. 諸雑費は、コンクリートパイプレンタル損料及び電力に関する経費等の費用であり、上表の労務費とコンクリートポンプ車運転費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. コンクリートポンプ車配管打設にて施工する場合で圧送管組立・撤去が必要な場合は、「第II編第4章①コンクリート工」により別途計上する。 なお、コンクリート1日当り打設量は、110m³を標準とする。 6. 養生については、「第II編第4章①コンクリート工」により別途計上する。</p> <p>2-2 型枠工 型枠工は、「第II編第4章②-1型枠工」により別途計上する。</p> <p>2-3 鉄筋工 鉄筋工は、「第VI編第2章①-1鉄筋工(太径鉄筋含む)」により別途計上する。</p> <p>2-4 足場工 足場工は、「第II編第5章⑦-1足場工」により別途計上する。</p> <p>2-5 支保工 支保工は、「第II編第5章⑦-2支保工」により別途計上する。</p> <p>2-6 基礎材工 基礎材工は、「第II編第2章②基礎・裏込砕石工」により別途計上する。</p> <p>2-7 均しコンクリート工 均しコンクリート工は、「第II編第4章①コンクリート工」により別途計上する。</p> <p>2-8 その他 基礎コンクリート工及び目地設置工等が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>IV-7-⑨-17</p>	コンクリート打設量 (m ³ /基)		単位	50m ³ 以上	名 称		土 木 一 般 世 話 役 人			0.06	特 殊 作 業 員	〃		0.18	普 通 作 業 員	〃		0.24	コンクリートポンプ車運転	日		0.06	諸 雑 費 率	%		4	<p>改 正</p> <p>現 行</p> <p>現行どおり</p> <p>2. 施工歩掛 2-1 橋台・橋脚コンクリート打設歩掛 橋台・橋脚工コンクリート打設歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表2.1 コンクリート打設歩掛 (人/10m³当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">コンクリート打設量 (m³/基)</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">50m³以上</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役 人</td> <td></td> <td></td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td></td> <td>0.18</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td></td> <td>0.24</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車運転</td> <td>日</td> <td></td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td></td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. コンクリートポンプ車の機種については、「第IV編第7章⑨-1橋台・橋脚工(1)」表3.1による。 2. コンクリートのロス率は、+0.02として上表に含めてある。 3. 上表には、ホースの簡先作業等を行う機械付補助労務を含む。 4. 諸雑費は、コンクリートパイプレンタル損料及び電力に関する経費等の費用であり、上表の労務費とコンクリートポンプ車運転費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. コンクリートポンプ車配管打設にて施工する場合で圧送管組立・撤去が必要な場合は、「第II編第4章①コンクリート工」により別途計上する。 なお、コンクリート1日当り打設量は、110m³を標準とする。 6. 養生については、「第II編第4章①コンクリート工」により別途計上する。</p> <p>現行どおり</p>	コンクリート打設量 (m ³ /基)		単位	50m ³ 以上	名 称		土 木 一 般 世 話 役 人			0.06	特 殊 作 業 員	〃		0.18	普 通 作 業 員	〃		0.24	コンクリートポンプ車運転	日		0.06	諸 雑 費 率	%		34	<p>備 考</p> <p>記載の変更</p>
コンクリート打設量 (m ³ /基)		単位	50m ³ 以上																																																				
名 称																																																							
土 木 一 般 世 話 役 人			0.06																																																				
特 殊 作 業 員	〃		0.18																																																				
普 通 作 業 員	〃		0.24																																																				
コンクリートポンプ車運転	日		0.06																																																				
諸 雑 費 率	%		4																																																				
コンクリート打設量 (m ³ /基)		単位	50m ³ 以上																																																				
名 称																																																							
土 木 一 般 世 話 役 人			0.06																																																				
特 殊 作 業 員	〃		0.18																																																				
普 通 作 業 員	〃		0.24																																																				
コンクリートポンプ車運転	日		0.06																																																				
諸 雑 費 率	%		34																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																																				